

## CONTENTS



建学の理念	3
組織構成図	4
南山大学の沿革	5
役職者一覧	7
教員・事務職員・外国籍教員数	8
名誉博士・名誉教授	9
教員組織	10
留学教員	17
2007年度特定研究助成	18
学生数	20
学位記授与数／外国人留学生数	21
奨学金	22
2007年度入学試験データ	23
キャリアサポートプログラム／2006年度就職データ	27
留学・提携校マップ	33
協定校別留学実績	35
南山エクステンション・カレッジ	36
研究所・研究センター	37
学部・研究所・研究センター・国際教育センター 逐次刊行物一覧 図書館蔵書数	39
財務諸表	40
科学研究費補助金	43
研究助成金・奨励金／土地・建物	44
後援会／友の会	45
南山大学アクセスマップ	



南山大学長 ハンス ユーゲン・マルクス

## 建学の理念

南山大学を運営する南山学園は、カトリックの修道会である神言修道会が設立母体となっています。明治末期に来日した神言会ドイツ人宣教師ヨゼフ・ライネルス神父が、1932年に南山中学校（旧制）を設立。1946年南山外国語専門学校（1947年名古屋外国語専門学校に改称）が開設され、1947年の学校教育法に基づく学制改革によって1949年1学部4学科からなる南山大学となり、初代学長にはアロイジオ・パッヘ神父が就任しました。以来58年を経た今日では、7学部15学科、7研究科を擁する総合大学へと発展しています。

南山大学は、男女共学の総合大学としては、中部唯一のカトリック系ミッションスクールで、「キリスト教世界観に基づく学校教育を行ない、人間の尊厳を尊重かつ推進する人材の育成」をその建学の理念としています。この建学理念に具体的な方向性を与えるために、本学は「人間の尊厳のために」（ラテン語で *Hominis Dignitati*）という教育モットーを掲げています。

キリスト教では、人間は神に創造されたものとして侵すことのできない「尊厳」つまり人間としてのかけがえのない価値や権利を持っている、と教えられています。このような人間の尊厳をしっかりと把握し、これを尊重しつつ生きていく人間になるように、という願いがこのモットーに込められているのです。

### 【コミュニケーションロゴ】2002年7月制定

コミュニケーションロゴは、ZANを上昇させ、NとZを交じ合わせ、プラス思考・交流をイメージさせる十字を形づくったデザインです。十字はキリスト教の精神を表すと共に、今まで培ってきた伝統を大切にしながら、新しい付加価値を創造し、未来へ発展していこうとする「伝統と未来の調和」を象徴しています。ZANが上がっている形状は、向上心とチャレンジ精神など前向きな上昇志向を表現しています。

### 【エンブレム】2002年7月制定

南山大学の伝統性を表現し、象徴性と権威性を強調したものです。NANを縦にZANを横に組み合わせ、クロスを描いた形を表現し、キリスト教の精神を象徴した独自性と知性の標章です。クロスの中には、アルファベットの先頭文字Aが重なっています。Aは「No.1 最高位」を意味し、国際的にもトップに輝く南山大学を表出しています。

NANZAN  
UNIVERSITY



財団法人大学基準協会による2006年度大学評価（相互評価ならびに認証評価）の結果、大学基準に適合していることが認定されました。

認定期間：2007年4月1日～2014年3月31日

# 組織構成図

## 〈教育研究〉

2007年5月1日現在

南山大学	大学院	人間文化研究科	キリスト教思想専攻博士前期課程
			宗教思想専攻博士後期課程
			人類学専攻博士前期・後期課程
			教育ファシリテーション専攻修士課程
			言語科学専攻博士前期・後期課程
		国際地域文化研究科	国際地域文化専攻修士課程
		経済学研究科	経済学専攻博士前期・後期課程
		ビジネス研究科	経営学専攻博士前期・後期課程
		総合政策研究科	総合政策専攻博士前期・後期課程
		数理情報研究科	数理情報専攻博士前期・後期課程
	専門職大学院	ビジネススクール（ビジネス研究科ビジネス専攻）	
		法科大学院（法務研究科法務専攻）	
	学部	人文学部	キリスト教学科
			人類文化学科
			心理人間学科
			日本文化学科
		外国語学部	英米学科
			スペイン・ラテンアメリカ学科
			フランス学科
			ドイツ学科
			アジア学科
		経済学部	経済学科
		経営学部	経営学科
		法学部	法律学科
		総合政策学部	総合政策学科
		数理情報学部	情報通信学科
情報システム数理学科			
英語教育センター			
国際教育センター	外国人留学生別科		
南山エクステンション・カレッジ			
研究所	人類学研究所、南山宗教文化研究所、社会倫理研究所		
地域研究センター	アメリカ研究センター、ラテンアメリカ研究センター、ヨーロッパ研究センター、アジア・太平洋研究センター		
各種研究センター	人間関係研究センター、経営研究センター、言語学研究センター、数理情報研究センター、法曹実務教育研究センター		
人類学博物館			
図書館	視聴覚教育センター		

## 〈事務〉

2007年5月1日現在

- 学長室
- 総務部 ..... ■総務課 ■人事課 ■経理課 ■施設課
- 学務部 ..... ■入試課 ■学生課 ■教務課 ■キャリア支援室
- 教育・研究事務部 ..... ■情報システム課 ■事務システム課 ■国際教育センター ■南山エクステンション・カレッジ事務局 ■図書館事務課  
■教育・研究支援事務室 ■学事課
- 瀬戸キャンパス事務部 ..... ■第1課 ■第2課

# 南山大学の沿革

西暦 1932. 1	財団法人南山中学校設立(名古屋市中区五軒家町6番地の1 = 現在、昭和区五軒家町6)
1946. 7	南山外国語専門学校(英語科・華語科)設立
1947. 4	外国語専門学校に独語科・仏語科を増設(8月名古屋外国語専門学校と改称、1951年4月廃止)
1948.10	財団法人南山学園の経営をカトリック名古屋教区から神言修道会に委譲
1949. 4	南山大学(文学部英語学英文・仏語学仏文・独語学独文・中国語学中国文の4学科)設立(中国文を1962年4月廃止)同第二部(夜間部)を併設(1966年3月廃止)
9	人類学民族学研究所設置(後に人類学研究所と改称)
1950. 4	文学部に哲学・教育・社会の3学科を増設
1951. 3	財団法人南山学園を学校法人南山学園に組織変更
1952. 4	社会科学部(社会学科・人類学科)を設置
1958. 4	大学院社会科学研究科文化人類学専攻修士課程設置
1960. 4	社会科学部を発展させて経済学部(経済学科)を設置 人類学科を文学部に移設 さらに西語学科を増設 大学院社会科学研究科を文学研究科と改称し文化人類学専攻博士課程を増設
1962. 4	文学部に神学科を増設 大学院文学研究科に英文学専攻修士課程を増設
1963. 4	外国語学部(英米科・イスパニヤ科)を設置(文学部西語学科は外国語学部イスパニヤ科へ移行) 経済学部に経営学科を増設 大学院経済学研究科経済学専攻修士・博士両課程設置
1964. 4	名古屋市昭和区山里町の新校舎(現在の名古屋キャンパス)に移転 大学院文学研究科に英文学専攻博士課程を増設
1968. 4	経営学部(経営学科)を設置
1969. 4	大学院文学研究科に仏文学専攻修士課程を増設
1972. 4	文学部に国語学国文学科を増設 大学院経営学研究科経営学専攻修士課程設置 同文学研究科に仏文学専攻博士課程を増設
1973.10	大学に隣接してロゴスセンター開館(神言会)
1974. 4	外国人留学生別科を設置 大学院文学研究科に独文学専攻修士課程 同経営学研究科に経営学専攻博士課程を増設
11	学園に南山宗教文化研究所を設置(1979年4月大学に移管)
1976. 4	大学院文学研究科に独文学専攻博士後期課程を増設 アメリカ研究センターを設置
1977. 4	法学部(法律学科)を設置
1979. 4	大学院文学研究科に神学専攻修士課程を増設
1980. 5	南山経済倫理研究所を設置(1981年6月社会倫理研究所と改称)
1981. 4	大学院法学研究科法学専攻修士課程設置 同文学研究科に神学専攻博士後期課程を増設
1983. 4	ラテンアメリカ研究センターを設置
1984. 3	神学科・大学院神学専攻課程が「在名古屋南山大学教皇庁認可神学部」としてローマ教皇庁により認可
1985. 4	経営研究センター・視聴覚教育センターを設置
1986. 4	経営学部(情報管理学科)を増設
5	オーストラリア研究センターを設置
1988. 4	外国語学部(日本語学科)を増設
1991. 4	ヨーロッパ研究センターを設置
1992. 4	大学院外国語学研究科英語教育専攻修士課程・日本語教育専攻修士課程を設置

1995. 4 「コミュニティカレッジ公開講座」を学園より大学と南山短期大学に移管
- 6 学校法人南山学園と学校法人名古屋聖霊学園とが合併
2000. 4 ◇名古屋キャンパス
- 文学部を人文学部に名称変更
  - 文学部神学科を人文学部キリスト教学科に名称変更
  - 文学部哲学科および人類学科を人文学部人類文化学科に改組
  - 文学部教育学科を人文学部心理人間学科に改組
  - 文学部国語学国文学科および外国語学部日本語学科を人文学部日本文化学科に改組
  - 文学部仏語学仏文学科を外国語学部フランス学科に改組
  - 文学部独語学独文学科を外国語学部ドイツ学科に改組
  - 外国語学部英米科を外国語学部英米学科に名称変更
  - 外国語学部イスパニヤ科を外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科に名称変更
  - 外国語学部にアジア学科を設置
  - 人間関係研究センターを設置
- ◇瀬戸キャンパス
- 総合政策学部総合政策学科を設置
  - 数理情報学部情報通信学科と数理科学科を設置
2002. 4 名古屋キャンパスに南山エクステンション・カレッジ開設
2003. 4 名古屋キャンパスに言語学研究センターおよびアジア研究センターを設置
2004. 4 ◇名古屋キャンパス
- 法務研究科(法科大学院)法務専攻専門職学位課程を設置
  - 人間文化研究科キリスト教思想専攻修士課程、人類学専攻修士課程、教育ファシリテーション専攻修士課程、言語科学専攻修士課程を設置
  - 国際地域文化研究科国際地域文化専攻修士課程を設置
- ◇瀬戸キャンパス
- 総合政策研究科総合政策専攻修士課程を設置
  - 数理情報研究科数理情報専攻博士前期課程および博士後期課程を設置
- ◇サテライトキャンパスを開設
2005. 4 ◇名古屋キャンパス
- オーストラリア研究センターとアジア研究センターを統合し、アジア・太平洋研究センターを設置
- ◇瀬戸キャンパス
- 数理情報研究センターを設置
2006. 4 ◇名古屋キャンパス
- 経営学研究科をビジネス研究科に名称変更
  - ビジネス研究科ビジネス専攻専門職学位課程を増設
  - 人間文化研究科に宗教思想専攻博士課程、人類学専攻博士課程、言語科学専攻博士課程を増設
- ◇瀬戸キャンパス
- 数理科学科を情報システム数理科に名称変更
  - 総合政策研究科に総合政策専攻博士課程を増設
2007. 4 ◇名古屋キャンパス
- 英語教育センターを設置
  - 法曹実務教育研究センターおよびリーガル・クリニックを設置

# 役職者一覧

## 役職者一覧

2007年4月1日現在

役 職	氏 名
学 長	MARX, Hans Jürgen
副学長（総務担当・将来構想担当）	丸山 雅夫
副学長（教学担当）	浜名 優美
副学長（国際担当）	SZIPPL, Richard
人文学部長	阿部 泰明
キリスト教学科長	江川 憲
人類文化学科長	服部 裕幸
心理人間学科長	加藤 隆雄
日本文化学科長	美濃部重克
外国語学部長	木下 登
英米学科長	鈴木 達也
スペイン・ラテンアメリカ学科長	高橋 覚二
フランス学科長	丸岡 高弘
ドイツ学科長	加藤 泰史
アジア学科長	小林 寧子
経済学部長	大谷津晴夫
経済学科長	山田 正次
経営学部長	斎藤 孝一
経営学科長	薫 祥哲
法学部長	青木 清
法律学科長	岡田 泉
総合政策学部長	藤原 道夫
総合政策学科長	井上 洋
数理情報学部長	野呂 昌満
情報通信学科長	河野 浩之
数理科学科長／情報システム数理学科長	高見 勲
人間文化研究科長	斎藤 衛
キリスト教思想専攻主任／宗教思想専攻主任	大森 正樹
人類学専攻主任	大塚 達朗
教育ファシリテーション専攻主任	津村 俊充
言語科学専攻主任	有元 将剛
国際地域文化研究科長	木下 登
国際地域文化専攻主任	藤本 博
総合政策研究科長	亀井 孝文
総合政策専攻主任	須藤 季夫
数理情報研究科長	野呂 昌満
数理情報専攻主任	河野 浩之
文学研究科長	阿部 泰明
神学専攻主任	江川 憲
文化人類学専攻主任	森部 一
英文学専攻主任	武田 悠一
仏文学専攻主任	丸岡 高弘
経済学研究科長	大谷津晴夫

役 職	氏 名
経済学専攻主任	近藤 仁
ビジネス研究科長	斎藤 孝一
経営学専攻主任	薫 祥哲
ビジネス専攻主任	湯本 祐司
法務研究科長	唐津 博
法務専攻主任	松浦以津子
外国語学研究科長	木下 登
日本語教育専攻主任	坂本 正
教務部長	榎本 鐘司
教務部次長	佐々木克巳
図書館長	水谷 重秋
学生部長	練尾 毅
学生部次長（厚生担当）	中村 和彦
学生部次長（課外活動担当）	伊藤 司
学生部次長（瀬戸キャンパス担当）	三浦 修史
指導司祭	鳥巢 義文
指導司祭	井上 淳
指導司祭	西脇 良
人類学研究所長	渡邊 学
南山宗教文化研究所長	SWANSON, Paul
社会倫理研究所長	澤木 勝茂
アメリカ研究センター長	川島 正樹
ラテンアメリカ研究センター長	加藤 隆浩
ヨーロッパ研究センター長	丸岡 高弘
アジア・太平洋研究センター長	小林 寧子
人間関係研究センター長	津村 俊充
言語学研究センター長	斎藤 衛
経営研究センター長	白木 俊彦
数理情報研究センター長	伏見 正則
法曹実務教育研究センター長	加藤 良夫
人類学博物館長	浜名 優美
視聴覚教育センター長	水谷 重秋
国際教育センター長	SZIPPL, Richard
国際教育センター 副センター長	藤本 哲史
国際教育センター 副センター長	POTTER, David
英語教育センター長	渡辺 義和
保健室長（名古屋キャンパス担当）	長谷川雅雄
保健室長（瀬戸キャンパス担当）	早川 徳香
学長補佐	野口 博史
学長補佐	牛田 千鶴
学長補佐	後藤 剛史

# 教員・事務職員・外国籍教員数

## 教員数・事務職員数

2007年5月1日現在

学部・研究科等	専任教育職員					専任事務職員等	非常勤講師	計			
	教授	准教授	講師	助教	計						
人文学部	41	21	10	1	73	169 (専任職員 136) (専任嘱託職員 32) (教務助手等 1)	464	947			
外国語学部	32	19	6	0	57						
経済学部	15	4	1	1	21						
経営学部	7	7	2	0	16						
法学部	8	5	0	0	13						
総合政策学部	25	20	12*	0	57						
数理情報学部	18	7	11	0	36						
ビジネス研究科	10	4	1	0	15						
法務研究科	15	1	0	0	16						
人間文化研究科	0	0	1*	0	1						
英語教育センター	0	0	9	0	9						
合計	171	88	53	2	314				169	464	947

\*うち総合政策学部1名、人間文化研究科1名はGP嘱託講師

## 外国籍教員数

2007年5月1日現在

学部・研究科等	専任教育職員				
	教授	准教授	講師	助教	計
人文学部	5	0	2	1	8
外国語学部	5	7	2	0	14
経営学部	1	2	1	0	4
総合政策学部	5	5	5*	0	15
数理情報学部	0	2	1	0	3
ビジネス研究科	2	1	0	0	3
英語教育センター	0	0	8	0	8
合計	18	17	19	1	55

\*うち1名はGP嘱託講師

## 国（地域）別外国籍教員数

2007年5月1日現在

国または地域	計
中華人民共和国	2
台湾	2
大韓民国	3
インドネシア	1
フィリピン共和国	3
バングラディッシュ人民共和国	1
インド	2
ウズベキスタン共和国	1*
オーストラリア連邦	4
ニュージーランド	1

\* GP嘱託講師

\*\*うち1名は連合王国との二重国籍

国または地域	計
連合王国	5
アイルランド	1
フランス	2
ドイツ連邦共和国	4
イタリア共和国	2
スペイン	1
ポルトガル共和国	1
アメリカ合衆国	12
メキシコ合衆国	1
カナダ	6**
合計	55

# 名誉博士・名誉教授

## 南山大学名誉博士

2007年4月1日現在

氏名	年月日	種類
Karl Tacke	S37.10.3	文学
Ralph Thyken	S41.6.28	経済学
August Mölle	S41.7.20	文学
Reinhold W.H.Baurs-Krey	S41.12.14	経済学
H.C.Prälat Joseph Teusch	S49.11.4	経済学
松本 正夫	S49.11.4	文学
Mariam Müller-Lüttgenau	S52.5.25	経済学
Karl Rudolf Höller	S52.5.25	経済学

氏名	年月日	種類
桑原 幹根	S52.5.25	文学
Friedrich Kronenberg	S57.11.26	経済学
Michael Joseph Mansfield	S61.7.2	文学
三宅 重光	S61.7.2	経済学
豊田 英二	H1.11.29	経営学
Willy Kraus	H1.11.29	経済学
小島鎌次郎	H14.6.29	経営学

## 南山大学名誉教授

2007年4月1日現在

氏名	年月日
Ralph Thyken	S27.5.19
Arundel del Re	S29.4.20
Martin Gusinde	S40.1.26
野崎勝太郎	S45.4.1
木村 太郎	S46.4.1
工藤 肅	S46.4.1
大庭 征露	S46.4.1
沼澤 喜市	S48.4.1
Alfons Migdalek	S48.4.1
村松恒一郎	S49.4.1
戸田 正志	S49.4.1
直井 豊	S49.4.1
Georg Gemeinder	S51.4.1
国分 敬治	S53.4.1
今川 憲次	S53.4.1
小林 知生	S53.4.1
Konstantin Guddorf	S54.4.1
Henry Van Straelen	S54.4.1
岸田 準一	S54.4.1
小松日出雄	S54.4.1
井上 紫電	S54.4.1
Anton Lämerhirt	S55.4.1
Alphonse Hotze	S55.4.1
小島公一郎	S56.4.1
斎藤 隆助	S56.4.1
八木 弘	S56.4.1
Edward Grzenia	S57.4.1
元川 房三	S58.4.1
Artur Lang	S59.4.1
Julius Abri	S59.4.1
George Pope	S59.4.1
松浦 一郎	S59.4.1

氏名	年月日
中村 精	S60.4.1
Albert Bold	S62.4.1
佐藤 哲夫	S62.4.1
宮内 璋	H2.4.1
長坂源一郎	H2.4.1
卜部小十郎	H2.4.1
Maria Josefa Sarrasin	H3.4.1
伊藤 孝一	H4.4.1
宮川 茂夫	H4.4.1
石黒 毅	H5.4.1
森 茂也	H6.4.1
加藤 道夫	H6.4.1
松山 昌司	H6.4.1
大雄令 純	H6.4.1
Albert Dewald	H6.4.1
泉 ひさ	H7.4.1
阿江 茂	H7.4.1
Louis Hanzel	H7.4.1
Charles Jarrot	H8.4.1
内藤 克彦	H8.4.1
西脇 博	H8.4.1
Jan Van Bragt	H8.4.1
Jan Swyngedouw	H8.4.1
鎌田 信夫	H8.4.1
進藤 義治	H8.5.26
明石 陽至	H9.4.1
杉山 俊治	H9.4.1
須磨 千穎	H9.4.1
末重 正行	H9.4.1
飯原 慶雄	H10.4.1
倉田 勇	H10.4.1
Eugen Rucker	H10.4.1

氏名	年月日
Pedro Simón	H10.4.1
山田 隆治	H10.4.1
青山 玄	H11.4.1
立松 弘孝	H11.4.1
田中 春美	H11.4.1
新井喜久夫	H12.4.1
栗村 道夫	H12.4.1
駒井 明	H12.4.1
枝村 茂	H13.4.1
山本 和義	H13.4.1
Robert J.Riemer	H13.4.1
岩見 恒典	H14.4.1
荻野 昌利	H14.4.1
石橋 泰助	H15.4.1
三上 茂	H15.4.1
大津 誠	H15.4.1
五百旗頭博治	H16.4.1
栗須 公正	H16.4.1
藤井 達敬	H16.4.1
鈴木 孝夫	H17.4.1
伊藤 秋男	H18.4.1
早川 正一	H18.4.1
伴 紀子	H18.4.1
寺田 邦昭	H19.4.1
岩野 一郎	H19.4.1
David Mayer	H19.4.1
玉崎 孫治	H19.4.1
大岩 勉	H19.4.1
John Seland	H19.4.1
長谷川利治	H19.4.1



## 教員組織

2007年4月1日現在

氏名	専攻分野	研究テーマ	取得学位
人文学部			
キリスト教学科			
学長 MARX, Hans Jürgen	組織神学	キリスト教伝承における人間の尊厳	神学博士
学科長 江川 憲	聖書学・聖書神学	新約聖書の解釈学および聖書神学	神学博士
教授 DUNPHY, Walter	キリスト教音楽	Pelagian literature, Hiberno-Latin literature	M.A. (Theology)
教授 濱口 吉隆	倫理神学	基礎倫理神学の歴史的研究、キリスト教的生命倫理	神学修士
教授 HEISIG, James	宗教哲学	日本哲学資料集	哲学博士
教授 熊木 建郎	聖書学	旧約聖書学及び聖書神学	Ph.D. (Old Testament)
教授 長倉 久子	西洋哲学史・神学・宗教哲学	人間・自然・超越者	宗教学博士、神学博士
教授 奥山 倫明	宗教学・宗教史学	宗教史理論の研究	博士(文学)
教授 大森 正樹	西洋中世哲学史・東方キリスト教学	東方キリスト教の思惟方法と西方キリスト教のそれとの比較研究	博士(文学)
教授 SWANSON, Paul	仏教学・宗教学	「摩訶止観」の英訳・注釈・研究、「科学と宗教」	Ph.D. (Philosophy)
教授 鳥巢 義文	組織神学、実践神学	神と世界についてのキリスト教的説明、諸宗教間対話をととした人間の救いの理解	Doktor der Theologie (D.theol)
教授 渡邊 学	宗教学	宗教体験の宗教学的・心理学的研究	文学博士
准教授 井上 淳	西洋中世哲学・神学	トマス・アクイナスにおける人間論	Ph.D. (Philosophy)
准教授 三好 千春	キリスト教史	東アジアのキリスト教	博士(文学)
准教授 西脇 純	西方典礼史	西方教会音楽の典礼史的研究	神学博士(典礼学)
講師 SOUSA, Domingos	組織神学・仏教学	東西両洋における諸思想の比較	博士(文学)
講師 柳澤 田実	哲学、教父学	神的存在を基盤とした世界理解とその可能性の検討	博士(学術)
人類文化学科			
学科長 服部 裕幸	哲学・論理学	言語哲学、心の哲学	文学修士
教授 青柳 宏	言語学	自然言語学における形態と意味	Ph.D. (Linguistics)
教授 後藤 明	文化人類学、民族考古学	東南アジア・オセアニアにおける海人の研究	Ph.D. (Anthropology)
教授 森部 一	文化人類学	近・現代におけるタイ上座仏教の変動に関する研究	博士(文学)
教授 西江 清高	東洋考古学	「中国」世界の形成・国家形成論	博士(史学)
教授 大塚 達朗	日本考古学・先史考古学・型式学	縄紋土器文化一系統説の見直しと環日本海先史土器文化編年研究	博士(文学)
教授 斎藤 衛	言語学	日本語研究を基礎とした比較文法論	Ph.D. (Linguistics)
教授 坂井 信三	社会人類学・歴史人類学	西アフリカのイスラーム化の過程、西アフリカの歴史的文明の形成過程	博士(社会人類学)
教授 谷口佳津宏	哲学	フランス実存哲学	文学修士
教授 横山 輝雄	科学基礎論	科学哲学・科学技術論	理学修士
准教授 青山 幹哉	日本中世史	日本中世武士社会の研究	文学修士
准教授 江本 純	昆虫学	鱗翅類における胸部筋肉系の機能と進化	農学修士
准教授 石原美奈子	文化人類学	北東アフリカにおけるイスラームとエスノナショナリズム	学術修士
准教授 黒沢 浩	考古学・博物館学	日本列島における稲作開始期以降の社会の研究、博物館と社会との関係についての研究	文学修士
准教授 奥田 太郎	倫理学	倫理学の諸問題に関する多層的考察	博士(文学)
准教授 坂下 浩司	西洋古代哲学史	アリストテレス哲学の体系的な研究	博士(文学)
准教授 鈴木 志元	図書館情報学、計算基礎論	項書換え系・lambda 計算	教育学修士
准教授 吉田 竹也	文化人類学	バリ宗教の人類学的研究、観光人類学	文学修士
講師 SAGAYARAJ, Antony samy	文化人類学、社会学	経済急成長するインドにおける社会的変動の研究	社会学修士
講師 鈴木 貴之	哲学	常識的世界観と科学的世界観の関係	博士(学術)
講師 渡部 森哉	考古学、文化人類学、中南米	アンデスにおける国家社会と非国家社会の比較研究	博士(学術)
心理人間学科			
学科長 加藤 隆雄	社会学	青年文化、子ども文化、自己と精神障害	教育学修士
教授 CALMANO, Michael	教育課程論	School Curriculum and Educational Policy	Ph.D. (Curriculum Theory and Moral Education)
教授 榎本 鐘司	スポーツ史	江戸時代の武術、武の身体技法について	体育学修士
教授 グラバア俊子	人間性教育、人間関係トレーニング	自己成長	文学修士、教育学修士
教授 長谷川雅雄	臨床心理学・精神医学	心理的援助に関する精神力動的な研究	医学博士
教授 石田 裕久	教育心理学	教授・学習指導の様式	教育学修士
教授 神谷 俊次	実験心理学・認知心理学	自伝的記憶に関する研究	博士(心理学)
教授 松原真志夫	教育学	教師論	教育学士

氏名	専攻分野	研究テーマ	取得学位
教授 中路 恭平	体育・スポーツ経営学	スポーツ施設のマーケティングに関する研究	体育学修士
教授 津村 俊充	社会心理・教育心理学	ラボラトリー方式の体験学習に関する研究	教育学修士
教授 山口 真人	人間関係トレーニング・グループダイナミックス	人間関係トレーニングの原理と方法を確立する	社会学修士、M.Ed
准教授 アッセマ庸代	生命科学論・和学形成・ホリスティック医療文化	日本人のいのち、心身に見合った学問形成	理学修士
准教授 川浦佐知子	社会学的社会心理学・質的心理学	「アイデンティティ」の社会学的考察、「語り」を通じたの時間体験の再体制化過程の検討	Ph.D. (Integral Studies)
准教授 楠本 和彦	臨床心理学	教育領域における心理臨床的活動	教育学修士
准教授 中村 和彦	人間関係トレーニング・組織開発	体験学習の理論研究・組織開発	修士(教育学)
准教授 中野 清	哲学	「個人」概念の成立原理	文学修士
准教授 浦上 昌則	発達心理学	20代から30代にかけての心的発達	博士(教育心理学)
講師 林 雅代	教育社会学・教育史	青少年問題の比較社会史・高等教育史	教育学修士
講師 平川 武仁	体育科学・運動心理学	環境と行為の結合に基づいた運動技能学習	博士(体育科学)
講師 金田 裕子	教育方法学	教室の参加構造と教師の専門性に関する研究	教育学修士
講師 松岡 敏恵	体育方法	バスケットボールに関する研究	学士
日本文化学科			
学部長 阿部 泰明	理論言語学	言語理論と普遍文法、統語論と意味論	Ph.D. (言語学)
学科長 美濃部重克	日本古典文学	中世文学・近現代文学	文学修士
教授 細谷 博	日本近代・現代文学	日本近代・現代文学研究	博士(文学)
教授 鎌田 修	日本語教育学	日本語の口頭能力研究、接触場面研究、伝達に関わる調査、分析	Ed.D. (教育学)
教授 丸山 徹	国語学・言語学	「大航海時代の語学書」としてのキリシタン文献	文学修士
教授 坂本 正	日本語教育学・第二言語習得論	日本語教育と第二言語習得論：外国人日本語学習者による日本語習得過程を縦断的かつ横断的に調査、分析することにより、より効率的な日本語教育法を構築する。	Ed.D. (教育学)
教授 櫻井 進	日本文化学	日本近世近代思想史	文学修士
教授 安田 文吉	近世文学・芸能文化学	浄瑠璃研究	博士(文学)
准教授 町田奈々子	日本語学・言語学	日本語学と日本語教育の関連分野に関する研究	Ph.D. (Linguistics)
准教授 松田 京子	日本近現代史	近現代日本と東アジア地域との文化交流史研究	博士(文学)
准教授 西岡 淳	中国語学・中国文学	中国古典文学研究	文学修士
准教授 辻本 裕成	日本古典文学	物語・日記文学の創造と享受	文学修士
講師 六川 雅彦	言語学(音韻論)・日本語学・日本語教育学	音韻理論、日本語の音韻と日本語教育の関連分野	Ph.D. (Linguistics)
外国語学部			
英米学科			
学科長 鈴木 達也	英語学・言語学	生成文法による英語統語論研究	Ph.D. (Linguistics)
教授 有元 将剛	言語学・英語学	統語理論と日英語	教育学修士、M.A. (Linguistics)
教授 藤本 博	現代アメリカ対外関係史	現代アメリカ外交とベトナム戦争	政治学修士
教授 藤本 哲史	社会学	労働者心理メカニズムの男女比較、組織のジェンダー化	Ph.D. (Sociology)
教授 橋本 恵	英米文学	English Renaissance Literature	文学修士
教授 川島 正樹	アメリカ史	アメリカ合衆国における市民権(公民権)運動の歴史的意義の検討	博士(文学)
教授 松永 隆	応用言語学	Second language acquisition	Ph.D. (Linguistics)
教授 宮川 佳三	アメリカ外交、日米関係論、国際関係論	アメリカ外交の伝統と政策、国際システムとアメリカの対外関係、国際システムと日米関係、日本のアイデンティティと対外関係	M.A. (アメリカ研究)
教授 村杉 恵子	言語学	言語学(統語論、心理言語学)	Ph.D. (Linguistics)
教授 岡部 朗一	スピーチ・コミュニケーション	アメリカの政治コミュニケーション	Ph.D. (コミュニケーション)
教授 PURCELL, William	英文学	Representations of Christian mission in colonial and postcolonial literature	Ph.D. (文学博士)
教授 佐々木剛志	英語文法	英語・日本語を用い言語の一般性を探る	Ph.D. (Theoretical Linguistics)
教授 武田 悠一	アメリカ文学・文学理論	英米の文学理論	文学修士
准教授 日野水 憲	英語学・言語学	形態論	文学修士
准教授 西村 貞雄	アメリカの経済・国際経済学	国際貿易の理論：アメリカ経済の国際経済的側面	経済学修士
准教授 奥田 博子	コミュニケーション・スタディーズ	記憶が革新される過程	Ph.D. (Communication Studies)
准教授 SHILLAW, John	言語評価・第二言語習得論	言語評価・第二言語習得論	Ph.D. (Second Language Acquisition)
准教授 WRIGHT, Mark	英語教育	Lifelong learning	M.A.

氏名	専攻分野	研究テーマ	取得学位
准教授 山崎 勉	英文学	Dickens の小説研究	文学修士
准教授 YARDLEY, Gabriel	英語教育	Literacy Studies	M.A. (応用言語学)
講師 花木 亨	コミュニケーション・スタディーズ	コミュニケーションと文化、コミュニケーションと日常生活	Ph.D. (Communication Studies)
講師 山岸 敬和	アメリカ政治、政治学、都市政治、公共政策	アメリカの社会政策発展	Ph.D. (Political Science)
スペイン・ラテンアメリカ学科			
学部長 木下 登	スペイン哲学	スペイン思想史	哲文学博士
学科長 高橋 覚二	現代スペイン語文法	動詞と前置詞の用法	哲文学博士
教授 CÁRDENAS, Abel	外国語教育	Foreign Language Education, International Education	M.A.
教授 加藤 隆浩	ラテンアメリカの文化人類学	アンデス社会の社会・文化的変化	社会科学博士
教授 REY, Felisa	外国語教育	La enseñanza de idiomas en Japón	教育哲学科学博士 Ed.Ph.D
教授 佐竹 謙一	スペイン・ラテンアメリカの文学	スペイン黄金世紀の演劇・社会事情	Ph.D.
教授 富野 幹雄	地域研究 (ブラジル社会経済史)	ブラジルにおける人種問題	文学修士
准教授 牛田 千鶴	ラテンアメリカ地域研究 (教育開発論)	南北アメリカ諸国におけるバイリンガル・バイカルチュラル教育の事例比較研究	国際学修士
准教授 安原 毅	国際経済学、開発経済学	ラテンアメリカ経済論	経済学博士
フランス学科			
学科長 丸岡 高弘	フランス文学	フランスロマン主義	第三課程文学博士
教授 倉田 信子	フランス文学	フランス・バロック小説研究	第三課程文学博士
教授 練尾 毅	フランス語学・言語学	フランス語文法	第三期課程言語学博士
准教授 真野 倫平	フランス文学、フランス歴史学	19世紀フランス歴史学	文学博士
准教授 REBOLLAR, Patrick	フランス語・教育工学	Simon, Claud (Nobel Prize, 1985)	D.E.A.
講師 COURRON, David	政治学	フランスの政治・憲法	修士相当
講師 森 千香子	社会学	社会学	D.E.A. (社会学)
ドイツ学科			
学科長 加藤 泰史	哲学・倫理学	カント哲学と現代ドイツ哲学・ドイツ応用倫理学	文学修士
教授 岡地 稔	西洋史学	9・10世紀ドイツにおける権力構造	文学修士
教授 SZIPPL, Richard	ドイツ近代史	日独関係史	Ph.D. (History)
教授 横田 忍	ドイツ文学	ドイツ詩・ドイツ伝承文学	文学修士
准教授 BAYERLEIN, Oliver	ドイツ語学	ドイツ語学、ドイツ語教育	Dr.phil
准教授 石井 賢治	ドイツ語学	語彙の拡大-造語と借用-	文学修士
准教授 RIESSLAND, Andreas Karl	ドイツ語教育、社会人類学	日本の自動車の広告	修士 (社会人類学)
准教授 鈴木 宗徳	社会学	理論社会学研究	社会学修士
講師 林田 雄二	ドイツ文学、ドイツ語教育	ドイツ演劇研究、ドイツ語教育法	文学修士
アジア学科			
学科長 小林 寧子	インドネシア近現代史	東南アジアのイスラーム	国際学修士
教授 蔡 毅	中国古典文学	日中漢詩比較研究	文学修士
教授 原 不二夫	マレーシア現代史	東南アジアの華人社会	博士 (学術)
教授 松戸 庸子	家族社会学、中国社会学	現代中国の近代化とグローバリゼーションに関する社会学的研究	学術修士
教授 森山 幹弘	インドネシア文学・歴史	インドネシアの文化史	文学博士
准教授 周 錦樟	日中対照言語学	言語政策・言語教育	国際学修士
准教授 宮沢 千尋	社会人類学	ベトナム村落社会構造の持続と変化に関する歴史人類学的研究	学術博士 (文化人類学)
准教授 中 裕史	中国文学	中国近現代文学研究	文学修士
准教授 中村 元哉	中国近現代史、東アジア国際関係論	中国および東アジアの政治史研究	博士 (学術)
講師 DAROS, Henri	インドネシア語	The Relevance of Asian Solidarity: The Indonesian Perspective	Postgraduate Diploma in Social Communication
経済学部			
経済学科			
学部長 大谷津晴夫	社会保障論、福祉国家論	少子高齢化、人口減少と年金改革	経済学修士
学科長 山田 正次	国際経済学	移転価格操作の経済効果	経済学修士
教授 荒井 好和	金融論	金融行政の政治経済分析	経営学修士
教授 花井 敏	マクロ経済学	経済成長と産業構造の変化の関係を理論的・実証的に研究	経済学修士

氏名	専攻分野	研究テーマ	取得学位
教授 林 尚志	開発経済学、国際経済学	アジアの経済発展と日本企業との関わりに関する研究	Ph.D. (Economics)
教授 川崎 勝	日本近代史	幕末から明治前期の経済、政治、思想、文化などの研究	社会学修士
教授 岸 智子	労働経済学	先進国における雇用形態の多様化と所得分布の変化	博士 (経済学)
教授 近藤 仁	計量経済学、ミクロ経済学	モデル選択を自動実施する計量分析用ソフトウェアの開発	Ph.D. (Economics)
教授 水谷 重秋	理論経済学	厚生経済学と社会的選択の理論	経済学修士、M.Phil.
教授 中矢 俊博	経済学史、経済思想史	ケインズ研究	博士 (経済学)
教授 野村 信廣	経済統計論	経済統計による経済分析と経済分析のための新しい経済統計の開発	経済学修士
教授 阪本 俊生	社会学	プライバシー論、監視社会論、経済と社会	博士 (人間科学)
教授 櫻井 健吾	西洋経済史	近代ドイツ人口史・都市史 (1800 - 1914 年)、ケテラー研究 (1811 - 1877 年)	経済学博士
教授 申 七郎	農業経済論	世界人口・食料生産と地球環境について	農学博士
教授 上田 薫	応用ミクロ経済学	公共選択論、経済政策論	Ph.D. (Economics)
准教授 井上 知子	理論経済学	環境問題の経済的側面の研究	博士 (経済学)
准教授 唐澤 幸雄	理論経済学、国際経済学	国際経済理論と政策に関する研究	博士 (経済学)
准教授 吉本 佳生	国際金融、生活経済、マクロ経済、ファイナンス	個人向け金融教育カリキュラムの研究、外国為替市場と為替レート変動の研究	経済学修士
准教授 吉根 勝美	情報科学	人的要因を含む情報システムの分析と構築、情報教育を支援するシステムの再構築	工学修士
講師 小林佳世子	法と経済学、情報の経済学、応用ゲーム理論	法と経済学、応用ゲーム理論	修士 (経済学)
<b>経営学部</b>			
<b>経営学科</b>			
学部長 高藤 孝一	管理会計論	企業価値の測定と有用性	商学修士
学科長 薫 祥哲	環境経済学	非市場評価法を用いた環境便益分析と環境政策の評価	Ph.D. (Economics)
教授 赤壁 弘康	金融工学	金融工学、ファイナンス	博士 (経済学)
教授 BREMER, Marc	財政学	Financial Deregulation	Ph.D. (Financial Economics)
教授 村本 正生	情報科学	知識データベースシステム	経済学修士
教授 春藤 修二	数学	論理学、特に様相論理研究	理学修士
教授 高橋 弘一	会計学	多角経営起業・グローバル企業のセグメント別財務報告の制度化に関する研究	商学修士
准教授 安藤 史江	経営組織論	組織学習論	博士 (経済学)
准教授 後藤 剛史	応用ミクロ経済学	企業と法の経済分析	博士 (経済学)
准教授 姜 秉国	経営工学	確率的逐次意思決定問題、スケジューリング問題、立地問題	Ph.D. (経営工学)
准教授 南川 和充	流通論	流通、マーケティング	博士 (商学)
准教授 中尾 陽子	心理学、人間関係トレーニング	ラボラトリー方式の体験学習による人間関係トレーニングの実践とその効果	修士 (心理学)
准教授 RINES, David	英語教育	Business Case Discussion Language Instruction	M.A. (English)
准教授 上野 正樹	経営戦略論、製品開発論	情報家電製品の開発戦略とマネジメント	博士 (経営学)
講師 FERRER, Joaquin	経営倫理学	経営倫理	Ph.D. (Business Ethics)
講師 長谷川高則	都市計画	都市計画	修士 (工学)
<b>法学部</b>			
<b>法律学科</b>			
学部長 青木 清	国際私法	日韓渉外家族法	法学修士
学科長 岡田 泉	国際公法	戦争犯罪論	法学修士
教授 伊藤 高義	民法	物権的返還請求権論	法学士
教授 沢登 文治	憲法	合衆国連邦制の研究	法学修士
教授 副田 隆重	民法	財産法および家族法の交錯領域の検討	法学修士
教授 田中 実	西洋法史	近世法学史	法学修士
教授 友岡 敏明	政治理論	総合的政治倫理学の構築	法学博士
教授 山田 秀	法哲学	自然法論の研究	法学博士
准教授 平林 美紀	民法	多数当事者の債権債務関係に関する研究	博士 (法学)
准教授 伊藤 司	民法	家族財産の法的取扱	法学修士
准教授 栗本 雅和	行政法	行政権力の解明	法学修士
准教授 岡田 悦典	刑事訴訟法	刑事実体法と刑事手続法との交錯する諸問題についての研究	博士 (法学)
准教授 高橋 真弓	商法	証券保有者間の利害調整	博士 (法学)

氏名	専攻分野	研究テーマ	取得学位
総合政策学部			
総合政策学科			
学部長 藤原 道夫	経営労務論・労使関係論	環境変化の下での経営と労働	社会学修士
学科長 井上 洋	行政学	イギリス行政史の研究	法学修士
教授 遠藤 宏一	財政学、地方財政論、地域政策論	公共政策と日本財政	博士(商学)
教授 藤本 潔	環境地理学	沿岸域の地形発達と環境変化の解明	理学博士
教授 深井 慈子	政治学、国際関係論	持続可能な世界秩序論	Ph.D. (国際政治学)
教授 浜名 優美	フランス思想、現代文明論	文明論	文学修士
教授 ホーランド 萬里子	英語教育	英語教授法、言語と文化、音声教育 (Oral Interpretation)	M.Ed
教授 HOLLAND, Ronald	仏文学・仏語・フランス語圏文学	Le roman et la nouvelle malgaches de langue française	M.A. (littérature francophone)
教授 池上 久子	体育学・スポーツバイオメカニクス	スポーツバイオメカニクス	体育学士
教授 亀井 孝文	会計学、公会計学	公会計理論と制度の研究	博士(経営学)
教授 江田 信豊	系統分類学、環境生物学	ヒトリガ亜科の系統分類、ギフチョウの衰亡と保護、ミドリジミ類の Biasystematics	農学博士
教授 梁 曉虹	中国語・漢語史	中国語、仏教と漢語史、仏経音義研究	文学博士
教授 LIM, Robyn J.	国際関係論	Strategic Developments in East Asia	Ph.D. (国際関係学)
教授 松戸 武彦	比較社会学	比較社会変動	社会学修士
教授 目崎 茂和	環境学	日本の環境とその政策論	理学博士
教授 三浦 修史	運動方法学(コーチ学)	スポーツ技術の分析研究	体育学士
教授 村松久良光	労働経済学	技能形成と労働市場	経済学博士
教授 CAVALLAR, Osvaldo	西洋史	欧州の中世期の法制史、文芸復興の政治思想の研究、写本の研究	文学修士
教授 POTTER, David M.	政治学	日本の ODA	Ph.D. (Political Science)
教授 須藤 季夫	国際関係論	日本の対東南アジア外交	政治学博士
教授 田中 恭子	国際政治(アジア研究)	中国・東南アジアの国際関係	Ph.D. (International Relations)
教授 宇田 光	教育心理学	高等教育における教授方法の研究・開発	教育学修士
教授 上野 宏	開発経済学、政策工学、国際経済学	開発経済学、政策工学、国際経済学	Ph.D. (Economics)
教授 山田 望	キリスト教教理史・西洋古代思想	キリスト教異端思想	博士(文学)
教授 吉川 洋子	国際関係論、東南アジア地域研究	東南アジア政治過程ならびにガバナンス、外交交渉	文学修士
准教授 浅香 幸枝	国際関係論・ラテンアメリカ地域研究	国際関係と文化	国際学修士
准教授 BAKER, David	応用言語学、英語教育	第二言語習得研究	M.A. (応用言語学)
准教授 CROKER, Robert Allan	第二言語習得研究	第二言語習得研究	Ph.D. (国際開発学)
准教授 原田 直枝	中国古典文学	漢魏晋南北朝文学研究	博士(文学)
准教授 石川 良文	都市環境政策学・地域経済学	都市環境政策の経済評価	博士(工学)
准教授 久村 恵子	組織行動論・組織心理学	経営組織におけるメンタリングの制度的活用と効果評価	博士(経営学)
准教授 MUNCADA, Felipe	Sociology, Religion, Labor Migration	Catholic Seminarians in the Philippines	Ph.D. (Sociology)
准教授 中島 靖次	哲学	自己意識の構造	文学修士
准教授 成田 靖子	生化学	タンパク質分解酵素が関わる疾病の生化学的解明	博士(医学)
准教授 西脇 良	発達心理学	宗教的自然観、子どもの宗教性発達	博士(心理学)
准教授 野口 博史	比較政治学・東南アジア地域研究	政治変動論、ベトナム・カンボジア政治史	修士(国際関係論)
准教授 大塚 弥生	心理学	カウンセリング・人間関係トレーニング	修士(教育学)
准教授 SEIGEL, Michel Thomas	神学(宣教学・社会倫理)	環境倫理、戦争と平和、社会主義	神学博士
准教授 寶多 康弘	国際貿易論	国際貿易の利益に関する理論的研究	博士(経済学)
准教授 豊島 明子	行政法学	社会保障における行政の役割についての研究	修士(法学)
准教授 VOLPE, Angelina	キリスト教人間学	キリスト教人間学と日本文化	神学宣教学博士
准教授 若井 隆司	環境経済学	環境政策手段の有効性についての研究	経済学修士
准教授 渡辺 義和	社会言語学・言語病理学	社会言語学と言語障害、異文化間コミュニケーション	Ph.D. (Speech and Hearing Science)
准教授 山口 薫	日本語教育	留学生の日本語習得研究	文学修士
准教授 山口 和代	日本語教育・異文化間教育	言語習得と文化の影響および文化変容	学術博士
講師 CALANTAS, Teresita	Education: English as a Second Language	Holistic Education: Curriculum Planning	M.A.Ed (English as a second Language)

氏名	専攻分野	研究テーマ	取得学位
講師 DEACON, Bradley	英語教育学	TESOL	M.A. (TESOL)
講師 早川 徳香	児童・思春期精神医学、精神病理学	児童・思春期精神医学、精神病理学	修士(医学)
講師 (AI) O'CONNELL, Sean	異文化コミュニケーション学	Intercultural Communication	M.A. (Advanced Japanese Studies)
講師 佐々木陽子	社会心理学・異文化間コミュニケーション	社会心理学から見た異文化間コミュニケーションの諸問題	学術修士
講師 鹿野 緑	第二言語習得、英語教育	第二言語習得、バイリンガリズム	M.A. (Linguistics)
講師 寺島 啓子	日本語学、日本語教育	日本語の文法研究	修士(文学)
講師 VELLAPLAMMURIYIL, Bose James	Teaching English to Speakers of Other Language (TESOL)	English Communication	M.A. (English Language and Literature) M.A. Education (Teaching Of English)
数理情報学部			
情報通信学科			
学部長 野呂 昌満	ソフトウェア工学	ソフトウェアアーキテクチャに関する研究	工学博士
学科長 河野 浩之	情報システム	データマイニング、データベース応用、知的ネットワーク	博士(工学)
教授 青山 幹雄	ソフトウェア工学	情報通信学、ソフトウェア工学概論	工学修士
教授 後藤 邦夫	通信ネットワーク	通信ネットワークとその性能評価	工学博士
教授 稲垣 直樹	無線通信工学	アンテナの基礎理論、移動体通信に関する研究	工学博士
教授 真野 芳久	計算機科学	プログラム作成支援環境、ソフトウェア保護	工学博士
教授 奥村 康行	通信工学	情報ネットワークの構成ならびに運用技術	博士(工学)
教授 沢田 篤史	ソフトウェア工学	モデル中心ソフトウェア開発技術	博士(工学)
准教授 張 漢明	ソフトウェア工学	形式手法に基づいたソフトウェア開発支援環境	博士(工学)
准教授 石崎 文雄	情報通信工学	情報通信システムの制御・性能評価に関する研究	博士(工学)
講師 渥美 紀寿	ソフトウェア工学	プログラムの解析による保守・開発支援に関する研究	博士(工学)
講師 藤井 勝之	生体電磁波工学、無線通信工学、電気電子工学	人体を伝送路として利用したウェアラブルデバイスの信号伝送メカニズムに関する研究	博士(工学)
講師 蜂巣 吉成	ソフトウェア工学	ソフトウェアの開発支援	博士(工学)
講師 金 知俊	コンピュータグラフィックス	自然物や自然現象のモデル化及び、コンピュータグラフィックスによる可視化	博士(工学)
講師 宮澤 元	情報科学	オペレーティングシステムを中心とするシステムソフトウェア	博士(理学)
講師 中道 上	ソフトウェア工学	ソフトウェア品質、ソフトウェア開発プロセス改善	博士(工学)
講師 大月 英明	計算機科学	NP 困難最適化問題の近似不可能性	修士(物理学)
講師 杉原 桂太	科学技術社会論	科学技術社会論	博士(学術)
講師 横森 励士	ソフトウェア工学	保守作業や再利用支援を目的としたプログラム解析手法に関する研究	博士(工学)
情報システム数理学科			
学科長 高見 勲	信頼性工学・制御工学・システム工学	大規模複雑システムの解析・設計とその応用に関する研究	工学博士
教授 伏見 正則	数理工学	確率数値解析、都市の OR	工学博士
教授 木村 美善	数理統計学	統計的方法のロバストネスとその応用に関する研究	理学博士
教授 宮元 忠敏	公理的集合論	Forcing and Large Cardinals	Ph.D. (Mathematics)
教授 尾崎 俊治	信頼性工学	システム信頼性工学	工学博士
教授 佐々木克巳	数理論理学	非古典論理とその応用	DOCTOR (Science)
教授 澤木 勝茂	オペレーションズ・リサーチ	不確実性の下での意思決定過程の数理的分析、ファイナンス工学における最適化モデルの研究	博士(工学) Ph.D. (経営学)
教授 杉浦 洋	数値解析	数値解析	工学博士
教授 鈴木 敦夫	数理工学	施設配置問題の研究	工学博士
教授 田中 豊	統計学	多変量解析の理論と応用の研究	理学博士
准教授 陳 幹	システム制御	ロバスト制御系の解析と設計	博士(工学)
准教授 松田 眞一	統計学	多重比較法の研究	博士(工学)
准教授 大石 泰章	制御理論	ロバスト制御、数理計画法アプローチ	博士(工学)
准教授 佐々木美裕	オペレーションズ・リサーチ	ネットワーク上の配置問題に関する応用研究	博士(情報学)
准教授 高橋 洋子	住環境学	住環境学	修士(家政学)
講師 稲川 敬介	オペレーションズ・リサーチ	都市の OR	博士(経営学)
講師 富田 誠	遺伝統計学・応用統計学	遺伝統計学・応用統計学	博士(理学)

氏名	専攻分野	研究テーマ	取得学位
<b>法科大学院</b>			
<b>法務研究科</b>			
研究科長 唐津 博	労働法	労働契約論	法学修士
専攻主任 松浦以津子	民法	因果関係	法学修士
教授 上口 裕	刑事訴訟法	刑事証拠法	博士(法学)
教授 加藤 良夫	医事法	医療過誤訴訟と患者の人権	法学士
教授 木下 芳宣	民事法	民事系分野の理論的教育と実務的教育の架橋について	法学士
教授 清原 泰司	民法	民法財産法の現代的諸問題	博士(法学)
教授 黒田 清彦	企業法	スペインにおける Corporate Governance	法学修士
教授 久世 表士	民事法	倒産法、民事保全・執行法の実務	法学士
教授 丸山 雅夫	刑事法	刑事法の総合的研究	法学博士
教授 中谷 実	憲法	憲法訴訟	博士(法学)
教授 榊原 秀訓	行政法	日本とイギリスの比較行政法研究	法学修士
教授 末道 康之	刑法	比較刑法理論の研究	博士(法学)
教授 多田 元	刑事法	少年法・子どもの人権	法学士
教授 高橋 広次	法哲学	現代自然法論の研究	法学博士
教授 山本 浩美	民事訴訟法	代替的紛争解決方法	法学修士・博士(学術)
准教授 今泉 邦子	商法	受託者の信託義務	修士(法学)
<b>ビジネス研究科</b>			
専攻主任 湯本 祐司	ビジネス エコノミクス、マーケティング論	マーケティングの経済分析	Ph.D. (Economics)
教授 願興寺皓之	労使関係・人的資源管理・経営政策	労使関係・人的資源管理・経営政策	博士(政策科学)
教授 広瀬 徹	マーケティング	広告、広報・IR、文化メセナ	文学士
教授 KHONDAKER, Rahman Mizanur	日本経営論、国際経営戦略論、経営学	異文化における日本多国籍企業の経営戦略、環境変化と日本的経営	商学博士
教授 T. H. Oum	交通経済学、輸送経済学	Public Policy Analysis on Optimal Market Shares for Air Transport and Surface Transport Modes	Ph.D. (Economics)
教授 佐久間裕幸	会計学	会計学・企業税法	修士(商学)
教授 笹井 均	管理科学	管理科学	工学博士
教授 白木 俊彦	会計学	外貨換算会計論	商学修士
教授 田畑 吉雄	ファイナンス、オペレーションズリサーチ	金融工学、オペレーションズリサーチ	工学博士
教授 吉原 英樹	国際経営	国際経営	経営学博士
准教授 林 秀美	会計学・国際租税論	環境会計・中国税務	修士(経営学)・修士(経済学)
准教授 松下 光司	消費者行動論、マーケティング論	ブランド・マネジメントと消費者行動	博士(経営学)
准教授 高橋 弘司	人的資源管理論・組織行動論/組織心理学	個人の組織への適応	経営学修士
准教授 山下 忠康	コーポレートファイナンス、金融システム	銀行・企業間関係	博士(経営学)
講師 竹澤 直哉	ファイナンス	ファイナンス、リアルオプション	Ph.D. (Operations Research)
<b>英語教育センター</b>			
講師 (SLI) GAGE, Patricia	英語教育	英語教育、Cooperative Learning	M.A. (TESOL)
講師 (SLI) HOWREY, John	Rhetoric and composition	Rhetoric and composition	M.A. (TESL)
講師 (SLI) WHITE, S.Mathew	英語教育 Extensive Speaking & Reading	英語教育、Learner motivation	M.A. (TEFL/TESL)
講師 (LI) BROWN, Dale	英語教育	Vocabulary, Materials development	M.A. (TEFL/TESL)
講師 (LI) 小林憲一郎	英語教育	Materials development	修士(教育学)
講師 (LI) LO DICO, Mauro	英語教育	Curriculum coordination	M.A. (Classics)
講師 (LI) McINULTY, Andrew	英語教育	Functional Grammar	M.Ed. (TESOL)
講師 (LI) MILES, Richard	英語教育	L1 use in the L2 class	M.A. (TESL)
講師 (LI) MULVEY, Sarah	英語教育	Returnee Students — maintaining English level	B.A.

## 2007年度 留学教員

2007年5月1日現在

学部・研究科	氏名	職名	期間	留学先		目的
人文学部	浦上 昌則	准教授	2007.9.16～2008.9.15	国内	関西大学	青年期キャリア発達過程におけるあきらめの役割についての研究のため
法学部	副田 隆重	教授	2007.9.14～2008.9.13	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	①賃借法制度の現状と問題点の比較法的検討 ②相続、遺言法の比較研究のため
総合政策学部	MUNCADA, Felipe	准教授	2006.9.15～2008.3.14	アメリカ合衆国 フィリピン	Catholic University of America / Scalabrini Migration Center	“The current supply of Philippine nurses”, “The local and foreign demand of Philippine nurses”, “The effects migration of nurses on local nursing education”, “The effects migration of nurses on local hospital care” 研究のため
	山田 望	教授	2007.9.15～2008.9.14	ヴァチカン市国 イタリア共和国	教皇庁ラテラノ大学 附属アウグスティニアヌム教父学研究所	ペラギウス派におけるオリゲネス主義（エヴァグリオスの修業論）の影響に関する研究のため
	藤本 潔	教授	2007.9.17～2008.9.16	オランダ王国	ユトレヒト大学	沿岸低地における完新生の環境変化と保全に関する研究のため
数理情報学部	陳 幹	准教授	2006.3.1～2007.8.31	オーストラリア	National ICT	構造的な不確かさを有するシステムの解析と設計に関する研究のため
	宮澤 元	講師	2007.8.1～2008.7.31	アメリカ合衆国	University of California, Irvine	科学技術計算のための分散環境におけるソフトウェア基盤に関する研究のため
法務研究科	中谷 実	教授	2007.10.1～2008.9.30	国内	早稲田大学	①我が国における司法消極主義と積極主義 —日本型付随的審査制の活性化の可能性— ②憲法知の構造とその展開の研究のため

## 2007年度 研究休暇教員

2007年5月1日現在

学部・研究科	氏名	職名	期間	研究休暇先		目的
人文学部	石田 裕久	教授	2006.9.16～2007.9.15	主に国内（南山大学、国内外旅行）		対人関係スキル形成の意義に関する研究論文の執筆、協同学習に関する著書の翻訳と資料収集のため
	石原美奈子	准教授	2007.9.16～2008.3.15	国内 エチオピア	南山大学、 アディス・アベバ大学	エチオピア南西部のギベ川流域（ジンマ・オロモ）社会のイスラーム化に関する博士号請求論文の公刊に向けての執筆作業、エチオピア東部での現地調査、およびアディス・アベバ大学エチオピア研究所附属図書館などで史料収集のため
経済学部	阪本 俊生	教授	2007.4.1～2008.3.31	国内	南山大学	経済社会学の理論的研究（1.これまでの自身の社会学およびプライバシー研究を経済社会学研究へと発展させるための文献研究、2.K.ポランニーの経済社会学理論の現代的意義の研究）のため
法学部	田中 実	教授	2006.10.1～2007.9.30	フランス オランダ	高等師範学校、 レイデン大学	盛期人文主義法学の私法解釈学の作品研究、非法学文献や言語学からアプローチを試みた人文主義者の作品研究などの研究のため
数理情報学部	鈴木 敦夫	教授	2007.4.1～2008.3.31	国内 アメリカ合衆国	南山大学、 カリフォルニア州立大学	現在遂行中の研究プロジェクトを完成させ、研究成果を発表するため、また、今後の研究課題を設定するための情報収集を行うため
法務研究科	上口 裕	教授	2007.4.1～2008.3.31	国内	南山大学	これまでの研究成果および法務研究科で使用した講義案を土台として、刑事訴訟法全体を対象とした体系書をまとめるため



## 2007 年度特定研究助成

## 2007 年度 パッへ研究奨励金 I-A-1 (特定研究助成・特別) 配分額一覧

2007年5月14日現在 [単位: 円]

学部	学科	氏名	研究課題	配分額	備考
数理情報	情報通信	野呂 昌満	E-AOSAS++に基づく開発環境の研究	1,000,000	共同研究者: 蜂巢 吉成
数理情報	情報通信	石崎 文雄	無線通信ネットワークの cross-layer 設計手法、制御、性能評価に関する研究	1,000,000	
I-A-1 合計			(2件)	2,000,000	

## 2007 年度 パッへ研究奨励金 I-A-2 (特定研究助成・一般) 配分額一覧

2007年5月14日現在 [単位: 円]

学部	学科	氏名	研究課題	配分額	備考
人 文	キリスト教	奥山 倫明	現代政教関係をめぐる日米欧比較研究	300,000	
		渡邊 学	今日の状況下における宗教と倫理	300,000	
		西脇 純	「平和のための祈り」と「平和の祈り」	8,000	
		柳澤 田実	キリスト教教父哲学に見られる「自己」・イメージ・情動の相関関係の分析	400,000	
	人類文化	吉田 竹也	バリ島と南西諸島における観光人類学的研究の探求	300,000	
		鈴木 真之	神経科学の哲学に関する基礎的研究	300,000	
		SAGAYARAJ, Antonyamy	CULTURAL STRUCTURALISM, IMAGE BUILDING, POLITICAL COMMUNICATION, AND EMERGING LEADER: A CASE OF BLACK MGR, A TAMIL FILM ACTOR, INDIA	300,000	
		黒沢 浩	弥生時代中期の土器群に関する動態論的研究	300,000	
		青柳 宏	動詞形態と機能範疇に関する日韓比較研究	300,000	
		後藤 明	日本における文理融合型教育実践の人類学的研究 ーとくに伝統的航海術に関する実践的教育プログラムの開発について	400,000	
		奥田 太郎	ヒューム道徳哲学における「会話」と「社交」の役割に関する研究	300,000	
		斎藤 衛	日本語左方周縁部の意味解釈	300,000	
		渡部 森哉	ペルー北部高地、カハマルカ文化の土器編年の再検討	300,000	
		神谷 俊次	自己認識の変容プロセスに関する研究	300,000	
	心理人間	川浦 佐知子	集合的記憶の構築と変遷: ノーザン・シャイアの事例	300,000	
		長谷川 雅雄	「疳の虫」に関する医学史および医療民俗学的研究	8,000	
		安田 文吉	新内節正本・稽古本研究 3	300,000	
	日本文化	櫻井 進	多人数クラスにおける参加型講義の形態の理論的探求と実践可能性の追求	8,000	
		松田 京子	台湾先住民と植民地統治・戦争・戦後	300,000	
		六川 雅彦	名前と性別に関する言語学的研究	400,000	
		美濃部 重克	伝承文学研究	300,000	
計			(21件)	5,724,000	
外 国 語	英 米	花木 亨	日常生活の中に溢れるコミュニケーション行為と文化的実践についての人文社会学的研究のための予備的考察	108,000	
		奥田 博子	可視化された歴史: 沖縄における<いま・ここ>から考える	300,000	
		村杉 恵子	生成文法理論からみた膠着語と文法獲得の特徴	300,000	
		山岸 敬和	アメリカ医師会の政策選好の変化 ー 1910年代から1940年代まで	108,000	
	スペイン ラテンアメリカ	加藤 隆浩	中央アンデスの2つの異界	300,000	
		牛田 千鶴	中米・カリブ地域から米国への出移民現象の背景と米社会におけるラティーノ勢力の伸張	300,000	
	フランス	森 千香子	「郊外」の変容とグローバリゼーション ー日本とフランス比較の視点から	300,000	
	ド イ ツ	加藤 泰史	ドイツ応用倫理学における「人間の尊厳」概念の研究	300,000	
		鈴木 宗徳	「個人化」に関する理論的・経験的研究	300,000	
	ア ジ ア	中村 元哉	『中華民国憲法』制定史に関する研究	108,000	
		森山 幹弘	日本におけるマレー語学習の歴史の変容	300,000	
		蔡 毅	学術翻訳と文化交流 ー青木正児原著・王古魯訳著『中国近世戯曲史』をめぐってー	300,000	
	計		(12件)	3,024,000	
経 済	経 済	上田 薫	レントシーキングの経済理論に関する体系的研究	8,000	
計			(1件)	8,000	

学部/研究科	学科/専攻	氏名	研究課題	配分額	備考
経営・ビジネス	経営	FERRER, Joaquin Jr.	Japanese Corporations and U.S. Employment Discrimination Acts: Is the FCN Treaty Inconsistent with Title VII?	300,000	
		南川 和充	補完製品市場における取引構造と競争 ―ホスピタリティ・マーケティングの観点から―	300,000	
		上野 正樹	モジュラー型製品開発のマネジメント: モバイル PC 開発の戦略と市場成果	400,000	
	ビジネス	願興寺 皓之	職場レベルにおける労働組合の経営参加的関与の意義 ―S社における実証的研究―	400,000	
		竹澤 直哉	エントロピー最適化を用いた企業βの推定に関する研究	300,000	
		田畑 吉雄	資産価格過程にジャンプが含まれるインデックスファンドとマルチンゲール	300,000	
		林 秀美	台湾における環境政策の調査	300,000	
		山下 忠康	知的資産評価に関する研究	400,000	
計			(8件)	2,700,000	
法・法務	法律	田中 実	ローマ古典期法学者に対する人文主義法学者の評価	8,000	
計			(1件)	8,000	
総合政策	総合政策	浅香 幸枝	トランスナショナル・エスニシティと国家への統合	8,000	
		BARKER, David	A study of the barriers to using English as a language of communication outside the classroom in a Japanese university	108,000	
		深井 慈子	持続可能な地球福祉社会 ―環境容量の再分配と地球システムの正当性の視点から考える	8,000	
		上野 宏	途上国の公共財政制度への PEFA プログラムの適用実態と示唆	300,000	
		野口 博史	カンボジアにおける塚状遺跡の立地・形態研究	300,000	
		佐々木 陽子	地域紛争の解決と平和構築におけるシミュレーション・ゲーミングの研究	8,000	
		POTTER, David M.	マスコミによる海外自然災害取材の比較研究	300,000	
		吉川 洋子	日比通商航海条約交渉 ―領海規定問題と国連海洋法会議	8,000	
		須藤 季夫	ポスト冷戦期 ASEAN のリージョナル・ガバナンス形成とその課題	8,000	
		石川 良文	東アジアにおける地域間相互依存関係と生産技術構造の変化	300,000	
		池上 久子	ゴルフのドライバーショットにおけるヘッドスピードと身体の回転との関連	300,000	
		梁 曉虹	日本所見写本音義と漢字俗字研究	300,000	
		松戸 武彦	日本的経営の中国展開と適応状況	8,000	
		賈多 康弘	貿易自由化と国内・国際的 M&A の経済効果	300,000	
		DEACON, Bradley	A Longitudinal Study of Developing Self-Regulation through Learner Self-Evaluated Audio Recording (LSEAR)	108,000	
計			(15件)	2,364,000	
数理情報	情報通信	奥村 康行	ブロードバンドサービスに適した高信頼ネットワークの構成法に関する研究	300,000	
		河野 浩之	デジタルアーカイブにおけるメタデータフォーマットに関する研究	300,000	
		中道 上	Web ユーザビリティ評価のためのインタラクション分析	108,000	
		沢田 篤史	体系的なモデル変換原理に基づく組込みソフトウェア開発環境の研究	400,000	
		藤井 勝之	人体を伝送路として利用したウェアラブルデバイスの信号伝送メカニズム究明	300,000	
		横森 励士	コンポーネントランクの変動度を用いた開発プロセス中の更新の重要度判定手法についての詳細調査	300,000	
		杉原 桂太	技術者倫理分野の日本における受容に関する考察	8,000	
		宮澤 元	大規模施設配置問題解法の並列化に関する研究	300,000	
		渥美 紀寿	クロスリファレンス情報を用いたコード検索に関する研究	300,000	
	情報システム数理	佐々木 克巳	様相論理における無限導出構造の解明	300,000	
		佐々木 美裕	階層構造を持つ施設配置モデルの実用化に関する研究	300,000	
		鈴木 敦夫	領域被覆問題に対する発見的解法の研究	300,000	
		富田 誠	遺伝子問題における解析 ―連鎖不平衡解析と双生児による分散因子分析―	300,000	
		伏見 正則	VLSI 検査用のセルオートマトン出力系列の特性分析	300,000	
		尾崎 俊治	勝ち抜きコイン投げゲームの確率論的解析	300,000	
		稲川 敬介	シミュレーションによる救急車システムの基礎研究	300,000	
		田中 豊	多変量解析の新しい展開とその応用	300,000	
		大石 泰章	非線形構造を持つロバスト半正定値計画問題の効率的解法	400,000	
計			(18件)	5,116,000	
I-A-2 合計			76件	18,944,000	

# 学生数

## 学部 全在籍者数

2007年5月1日現在・（ ）は女子内数

学部・学科		年次	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次以上	合計
人 文	キリスト教		22( 14)	22( 13)	18( 14)	12( 5)	5( 2)	79( 48)
	人類文化		121( 82)	104( 73)	120( 69)	126( 86)	16( 9)	487( 319)
	心理人間		111( 92)	120( 89)	111( 83)	132( 101)	15( 9)	489( 374)
	日本文化		93( 77)	126( 107)	96( 79)	121( 94)	12( 7)	448( 364)
	小計		347( 265)	372( 282)	345( 245)	391( 286)	48( 27)	1,503(1,105)
外 国 語	英 米		215( 175)	188( 147)	205( 168)	222( 189)	45( 36)	875( 715)
	フランス		67( 43)	68( 52)	70( 55)	61( 50)	24( 15)	290( 215)
	ドイツ		50( 42)	47( 44)	59( 53)	44( 38)	3( 2)	203( 179)
	アジア		53( 44)	48( 39)	58( 47)	57( 49)	17( 11)	233( 190)
	小計		41( 32)	64( 53)	64( 53)	63( 49)	15( 11)	247( 198)
小計		426( 336)	415( 335)	456( 376)	447( 375)	104( 75)	1,848(1,497)	
経 済	経 済		262( 90)	306( 104)	268( 90)	278( 96)	47( 12)	1,161( 392)
経 営	経 営		234( 108)	303( 136)	265( 127)	241( 127)	42( 16)	1,085( 514)
法	法 律		309( 151)	293( 142)	285( 127)	288( 120)	54( 19)	1,229( 549)
総合政策	総合政策		355( 199)	372( 190)	414( 218)	368( 211)	65( 33)	1,574( 851)
数理情報	情報通信		—	0( 0)	124( 27)	116( 20)	20( 1)	260( 48)
	数理学		—	0( 0)	86( 23)	93( 21)	17( 1)	196( 45)
	学部所属		246( 39)	190( 42)	—	—	—	436( 81)
小計		246( 39)	190( 42)	210( 50)	209( 41)	37( 2)	892( 174)	
合計		2,179(1,188)	2,251(1,231)	2,243(1,233)	2,222(1,256)	397( 174)	9,292(5,082)	

※ 数理学科は、2006年度より情報システム数理学科に名称変更。学科は2年次末に決定。

## 学部 秋学期入学者数のみ（上記在籍者数の内数）

2007年5月1日現在・（ ）は女子内数

学部・学科		年次	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次以上	合計
総合政策	総合政策		13( 6)	14( 7)	12( 7)	15( 10)	1( 0)	55( 30)
合計			13( 6)	14( 7)	12( 7)	15( 10)	1( 0)	55( 30)

## 大学院

2007年5月1日現在・（ ）は女子内数

研究科・専攻	年次	博士前期・修士課程				博士後期課程				
		1年次	2年次	3年次以上	合計	1年次	2年次	3年次	4年次以上	合計
人 間 文 化	キリスト教思想	9( 4)	8( 1)	5( 0)	22( 5)	—	—	—	—	—
	宗教思想	—	—	—	—	2( 0)	3( 2)	—	—	5( 2)
	人類学	5( 3)	4( 1)	2( 1)	11( 5)	2( 1)	1( 0)	—	—	3( 1)
	教育文化学	10( 9)	9( 7)	12( 4)	31( 20)	—	—	—	—	—
	言語科学	15( 10)	11( 9)	5( 2)	31( 21)	4( 3)	7( 4)	—	—	11( 7)
小計		39( 26)	32( 18)	24( 7)	95( 51)	8( 4)	11( 6)	—	—	19( 10)
国際地域文化	国際地域文化	14( 11)	14( 6)	6( 3)	34( 20)	—	—	—	—	—
経 済 学	経 済 学	3( 1)	8( 3)	3( 0)	14( 4)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)
ビ ジ ネ ス	経 営 学	5( 3)	11( 7)	4( 0)	20( 10)	1( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	1( 0)
総合政策	総合政策	7( 4)	10( 4)	4( 2)	21( 10)	3( 1)	2( 1)	—	—	5( 2)
数理情報	数理情報	35( 3)	34( 3)	5( 0)	74( 6)	4( 1)	2( 1)	2( 0)	1( 0)	9( 2)
文 学	神 学	—	—	0( 0)	0( 0)	—	0( 0)	1( 1)	2( 0)	3( 1)
	文化人類学	—	—	—	—	—	0( 0)	1( 0)	2( 0)	3( 0)
	英 文 学	—	—	—	—	—	0( 0)	1( 1)	1( 1)	2( 2)
	仏 文 学	—	—	1( 1)	1( 1)	—	0( 0)	1( 1)	1( 1)	2( 2)
小計		—	—	1( 1)	1( 1)	—	0( 0)	4( 3)	6( 2)	10( 5)
外 国 語 学	英語教育	—	—	0( 0)	0( 0)	—	—	—	—	—
	日本語教育	—	—	2( 2)	2( 2)	—	—	—	—	—
小計		—	—	2( 2)	2( 2)	—	—	—	—	—
合計		103( 48)	109( 41)	49( 15)	261(104)	16( 6)	15( 8)	6( 3)	7( 2)	44( 19)

研究科・専攻	年次	専門職学位課程				
		1年次	2年次	3年次	4年次以上	
ビ ジ ネ ス	ビ ジ ネ ス	32( 4)	60( 7)	—	—	92( 11)
法 務	法 務 3 年	35( 13)	39( 9)	34( 11)	12( 5)	120( 38)
	法 務 2 年	12( 3)	9( 5)	2( 0)	—	23( 8)
合計		79( 20)	108( 21)	36( 11)	12( 5)	235( 57)

## 外国人留学生別科

2007年5月1日現在・（ ）は女子内数

正 規 生	113(52)
-------	---------

# 学位記授与数／外国人留学生数

## 学部学位記(学士)授与数

2007年3月31日現在

種類	授与数		備考
	2006年度	累計	
文	0	12,347	
文(第二部)	—	348	1966年廃止
社会科学	—	1,050	1964年廃止
経済	261	11,472	
外国語	401	10,321	
経営	269	9,993	
法	234	6,496	
人文	330	1,362	
総合政策	303	1,318	
数理情報	219	805	
合計	2,017	55,512	

## 大学院学位記(修士・法務博士・博士)授与数

2007年3月31日現在

種類	修士		備考
	授与数		
	2006年度	累計	
文学	1	400	
英語教育	0	72	
日本語教育	0	80	
法学	—	136	2004年廃止
キリスト教思想	3	8	
人類学	9	9	
教育フロンティア	9	13	
言語科学	15	29	
地域研究	17	32	
経済学	13	160	
経営学	11	302	
総合政策	15	26	
数理情報	35	76	
合計	128	1,343	

種類	法務博士		備考
	授与数		
	2006年度	累計	
法務	27	37	
合計	27	37	

種類	博士		備考
	授与数		
	2006年度	累計	
文学	0	13	
経済学	0	5	
経営学	1	24	
数理情報	1	2	
合計	2	44	

## 学部別外国人留学生数

2007年5月1日現在・( )は女子内数

学部	1年	2年	3年	4年	合計	内訳	
						国費	私費*1
人文	2(0)	—	—	3(0)	5(0)	—	5(0)
外国語	—	—	—	2(1)	2(1)	—	2(1)
経済	1(0)	1(0)	—	—	2(0)	—	2(0)
経営	—	—	3(2)	4(4)	7(6)	—	7(6)
法	—	—	—	1(0)	1(0)	—	1(0)
総合政策	24(13)	24(12)	26(13)	29(18)	103(56)	—	103(56)
数理情報	—	1(1)	—	—	1(1)	—	1(1)
合計	27(13)	26(13)	29(15)	39(23)	121(64)	—	121(64)

\*1 私費：「私費外国人留学生」。出入国管理及び難民認定法別表第1に定める「留学」の在留資格を有する者。

## 国別外国人留学生数(学部・大学院)

2007年5月1日現在・( )は女子内数

国籍	学部	大学院			外国人留学生別科	合計
		修士前期課程	修士後期課程	専門職学位課程		
オーストラリア	—	1(1)	—	—	1(0)	2(1)
ブラジル	—	1(0)	—	—	—	1(0)
カナダ	—	—	—	—	2(0)	2(0)
中国	62(30)	13(8)	3(1)	4(1)	6(5)	88(45)
チェコ	—	—	—	—	1(1)	1(1)
フィンランド	—	—	—	—	1(0)	1(0)
ポルトガル	—	—	1(0)	—	—	1(0)
フランス	1(0)	—	—	—	2(1)	3(1)
ドイツ	—	—	—	—	1(0)	1(0)
インド	1(1)	—	—	—	—	1(1)
インドネシア	—	2(1)	—	—	6(5)	8(6)
イタリア	—	—	—	—	1(1)	1(1)
韓国	14(9)	—	1(1)	—	5(3)	20(13)
マリア	—	—	—	—	1(0)	1(0)
マレーシア	1(1)	1(1)	1(0)	—	—	3(2)
メキシコ	—	1(0)	—	—	—	1(0)
ミャンマー	4(4)	1(1)	—	—	1(1)	6(6)
オランダ	—	—	—	—	5(2)	5(2)
フィリピン	2(0)	—	—	—	1(1)	3(1)
ポーランド	—	—	—	—	1(0)	1(0)
スロバキア	—	—	—	—	1(0)	1(0)
スイス	1(0)	1(1)	—	—	—	2(1)
台湾	14(6)	1(1)	1(1)	—	3(3)	19(11)
タイ	18(11)	—	1(1)	—	5(5)	24(17)
連合王国	—	—	—	—	4(0)	4(0)
アメリカ合衆国	1(0)	—	—	—	59(22)	60(22)
日本*1	—	—	—	—	2(1)	2(1)
ベトナム	2(2)	1(1)	—	—	4(1)	7(4)
合計	121(64)	23(15)	8(4)	4(1)	113(52)	269(136)

\*1 アメリカ合衆国との二重国籍

## 研究科別外国人留学生数

2007年5月1日現在・( )は女子内数

研究科	修士前期課程			修士後期課程			専門職学位課程			合計	内訳			
	1年	2年	小計	1年	2年	3年	小計	1年	2年		3年	小計	国費	私費*1
	文学	—	—	—	—	—	1(0)	1(0)	—		—	—	—	1(0)
人間文化	5(3)	1(1)	6(4)	—	1(1)	—	1(1)	—	—	—	—	7(5)	1(0)	6(5)
国際地域文化	1(1)	2(1)	3(2)	—	—	—	—	—	—	—	—	3(2)	—	3(2)
経済学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ビジネス(経営)	2(1)	6(4)	8(5)	1(0)	—	—	1(0)	—	—	—	—	9(5)	1(0)	8(5)
総合政策	2(2)	4(2)	6(4)	2(1)	1(1)	—	3(2)	—	—	—	—	9(6)	—	9(6)
数理情報	—	—	—	1(1)	—	1(0)	2(1)	—	—	—	—	2(1)	1(0)	1(1)
ビジネス(ビジネス)	—	—	—	—	—	—	—	4(1)	—	—	4(1)	4(1)	—	4(1)
法務	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	10(7)	13(8)	23(15)	4(2)	2(2)	2(0)	8(4)	4(1)	—	—	4(1)	35(20)	3(0)	32(20)

\*1 私費：「私費外国人留学生」。出入国管理及び難民認定法別表第1に定める「留学」の在留資格を有する者。

## 奨学金

## 奨 学 金

2006 年度実績

学内奨学金		
南山大学入学時奨学金	(貸与)入学一時金(24名) 一般(授業料相当額)・春学期(155名) 秋学期(149名)	7,290,000円 115,886,000円
南山大学随時奨学金	(貸与:授業料相当額) 秋学期(1名)	459,000円 459,000円
南山大学友の会奨学金 海外留学奨学金	(給付)(10名)	3,000,000円
南山大学友の会奨学金 外国人留学生奨学金	(給付:学部・大学院留学生)(9名)	1,650,000円
南山大学派遣留学生奨学金	(給付)(96名) (貸与)(18名)	18,850,000円 14,300,000円
南山大学ヒルシュマイヤー国際交流奨励金	(給付:派遣留学生)(10名) (給付:学部・大学院留学生)(21名) (給付:外国人留学生別科生)(8名)	3,000,000円 4,350,000円 1,800,000円
トヨタ・南山/東南アジア留学生奨学金	(給付:外国人留学生別科生)(8名)	6,440,000円
イブハツエ・南山留学奨学金	(給付:外国人留学生別科生)(1名)	1,580,000円
南山大学高島奨学金	(給付:外国人留学生別科生)(1名)	360,000円
南山大学総合政策学部後援会留学生奨学金	(給付:学部留学生)(115名)	81,789,000円
南山大学総合政策学部小島外国人留学生奨学金	(給付:学部留学生)(9名)	8,686,000円
南山大学総合政策学部南通市外国人留学生奨学金	(給付:学部留学生)(2名)	1,497,500円
三機工業株式会社奨学金	(給付:総合政策研究科留学生)(3名)	720,000円
南山大学大学院社会人入学者奨学金	(給付:3年目の履修年度の授業料及び施設設備費相当額)(6名)	4,074,000円
南山大学大学院(学園内短期大学卒業生)入学者奨学金	(給付:入学年度の入学金の50%相当額)(2名)	300,000円
南山大学大学院法務研究科奨学金	第1種(給付)50万×22名 第2種(給付)30万×23名	11,000,000円 6,900,000円
南山大学大学院法務研究科奨学金	(貸与)	実績なし
博士論文作成奨励金	(給付:博士後期課程生)(2名)	2,400,000円
南山大学同窓会奨学金	(給付)(35万円×14名)	4,900,000円
南山大学給付奨学金	第1種給付奨学金(給付)35万×28名 第2種給付奨学金(給付)17万×112名	9,800,000円 19,040,000円
南山大学友の会給付奨学金	(給付)(12万×56名)	6,720,000円
南山大学奨励奨学金	(給付:学業優秀者)(25名) (給付:学術・文化・スポーツ個人)(5名) (給付:学術・文化・スポーツ団体)(3団体)	5,000,000円 1,500,000円 1,500,000円
南山大学50周年記念給付奨学金	(給付)(10名)	2,500,000円

## 日本学生支援機構奨学金

## 第一種

(貸与:1年次4月採用者) (120名)

(貸与:2年次以上採用者) (16名)

## 第二種

(貸与:1年次4月採用者) (130名)

(貸与:2年次以上採用者) (37名)

併用 1年次4月採用者:18名  
2年次以上採用者:1名

2007年度入学試験データ

2007年度入学試験総括表 <1次年入学>

(注) 9月入学は含まず

Main table showing admission exam results for 2007, including columns for faculty (学部), subject (学科・方式), and exam type (試験種別). It details the number of applicants and合格者 (qualified candidates) across various faculties like Humanities, Foreign Languages, Economics, Law, and Information Science.

Summary table of admission exam results for 2007, mirroring the main table's structure but with a focus on the total number of qualified candidates (合格者数) for each category. It includes the same faculty and subject breakdowns as the main table.

( )内は女子内数

# 入学試験データ

## 博士前期（修士）課程

[ ] 内は定員 ( ) 内は女子内数

研究科名	専攻名	種別名	志願者数	受験者数	合格者数	
人間文化 [38]	キリスト教思想 [8]	一般	3 ( 2)	3 ( 2)	2 ( 2)	
		社会人	1 ( 1)	1 ( 1)	1 ( 1)	
		推薦	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
		国内在住外国人	6 ( 0)	5 ( 0)	5 ( 0)	
		国外在住者	1 ( 1)	1 ( 1)	1 ( 1)	
	小計			11 ( 4)	10 ( 4)	9 ( 4)
	人類学 [8]	一般	3 ( 1)	2 ( 1)	2 ( 1)	
		社会人	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
		推薦	3 ( 2)	3 ( 2)	3 ( 2)	
	小計			6 ( 3)	5 ( 3)	5 ( 3)
	教育ファシリテーション [10]	一般	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
		社会人	13 ( 12)	13 ( 12)	10 ( 9)	
		推薦	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
	小計			13 ( 12)	13 ( 12)	10 ( 9)
	言語科学 [12]	一般	10 ( 10)	9 ( 9)	4 ( 4)	
		社会人	4 ( 2)	2 ( 1)	2 ( 1)	
		推薦	5 ( 4)	5 ( 4)	5 ( 4)	
		国内在住外国人	8 ( 3)	8 ( 3)	3 ( 1)	
		国外在住者	4 ( 2)	4 ( 2)	2 ( 1)	
小計			31 ( 21)	28 ( 19)	16 ( 11)	
計			61 ( 40)	56 ( 38)	40 ( 27)	
国際地域文化 [20]	国際地域文化	一般	11 ( 5)	11 ( 5)	5 ( 3)	
		社会人	6 ( 5)	6 ( 5)	6 ( 5)	
		推薦	2 ( 2)	2 ( 2)	2 ( 2)	
		国外在住者	1 ( 1)	1 ( 1)	1 ( 1)	
計			20 ( 13)	20 ( 13)	14 ( 11)	
経済学 [15]	経済学	一般	2 ( 0)	2 ( 0)	0 ( 0)	
		社会人	1 ( 0)	1 ( 0)	1 ( 0)	
		推薦	2 ( 1)	2 ( 1)	2 ( 1)	
計			5 ( 1)	5 ( 1)	3 ( 1)	
ビジネス [10]	経営学	一般	4 ( 4)	4 ( 4)	1 ( 1)	
		社会人	1 ( 0)	1 ( 0)	1 ( 0)	
		推薦	3 ( 3)	3 ( 3)	3 ( 3)	
		国外在住外国人	2 ( 1)	2 ( 1)	1 ( 0)	
		飛び級	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
計			10 ( 8)	10 ( 8)	6 ( 4)	
総合政策 [30]	総合政策	一般	5 ( 3)	4 ( 3)	3 ( 2)	
		社会人	2 ( 1)	2 ( 1)	2 ( 1)	
		推薦	2 ( 1)	2 ( 1)	2 ( 1)	
		飛び級	1 ( 1)	1 ( 1)	1 ( 1)	
計			10 ( 6)	9 ( 6)	8 ( 5)	
数理情報 [80]	数理情報	一般	16 ( 1)	16 ( 1)	11 ( 1)	
		社会人	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
		推薦	26 ( 2)	26 ( 2)	26 ( 2)	
計			42 ( 3)	42 ( 3)	37 ( 3)	
合計			148 ( 71)	142 ( 69)	108 ( 51)	

博士後期課程

[ ] 内は定員 ( ) 内は女子内数

研究科名	専攻名	種別名	志願者数	受験者数	合格者数	
人間文化 [10]	宗教思想 [3]	一般	2 ( 0)	2 ( 0)	2 ( 0)	
		社会人	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
		国内在住外国人	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
		国外在住者	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
	小計			2 ( 0)	2 ( 0)	2 ( 0)
	人類学 [3]	一般	2 ( 2)	1 ( 1)	1 ( 1)	
		社会人	1 ( 0)	1 ( 0)	1 ( 0)	
	小計			3 ( 2)	2 ( 1)	2 ( 1)
	言語科学 [4]	一般	4 ( 3)	4 ( 3)	4 ( 3)	
		社会人	1 ( 0)	1 ( 0)	1 ( 0)	
		国内在住外国人	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
		国外在住者	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
	小計			5 ( 3)	5 ( 3)	5 ( 3)
計			10 ( 5)	9 ( 4)	9 ( 4)	
経済学 [5]	経済学	一般	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
ビジネス [5]	経営学	一般	1 ( 0)	1 ( 0)	1 ( 0)	
		国外在住外国人	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
計			1 ( 0)	1 ( 0)	1 ( 0)	
総合政策 [5]	総合政策	一般	1 ( 1)	1 ( 1)	1 ( 1)	
		社会人	2 ( 1)	2 ( 1)	1 ( 0)	
		国外在住者	1 ( 0)	1 ( 0)	1 ( 0)	
計			4 ( 2)	4 ( 2)	3 ( 1)	
数理情報 [10]	数理情報	一般	4 ( 1)	4 ( 1)	4 ( 1)	
		社会人	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
計			4 ( 1)	4 ( 1)	4 ( 1)	
合計			19 ( 8)	18 ( 7)	17 ( 6)	

専門職学位課程

[ ] 内は定員 ( ) 内は女子内数

研究科名	専攻名	種別名	志願者数	受験者数	合格者数
ビジネス [50]	ビジネス	一般	12 ( 2)	12 ( 2)	7 ( 0)
		社会人	32 ( 3)	30 ( 3)	28 ( 3)
		推薦	1 ( 1)	1 ( 1)	1 ( 1)
		国外在住者	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)
計			45 ( 6)	43 ( 6)	36 ( 4)
法務 [50]	法務	未修	209 ( 66)	175 ( 50)	85 ( 35)
		既修	110 ( 30)	91 ( 24)	27 ( 8)
計			319 ( 96)	266 ( 74)	112 ( 43)
合計			364 (102)	309 ( 80)	148 ( 47)

外国人留学生別科 (正規生)

	志願者数	合格者数
2006 年秋学期	175	153
2007 年春学期	45	34



# キャリアサポートプログラム 2006年度就職データ

## キャリアサポートプログラム

学生に将来の夢や目標を持たせ、大学で学ぶことの動機付けをし、学生の「職業的将来の準備」として、①学問の方法を身につけさせること、②自立を促すこと、③職業理解を促すことを目的とし、社会へスムーズに移行させるための支援として、2005年度よりキャリアサポートプログラムを開始し、2006年度は以下の企画を実施しました。

〈新入生対象〉キャリアサポートガイダンス

学部別学び方講座

〈低学年対象〉進路ガイダンス

職務適性テスト

ブラッシュアップセミナー（コミュニケーション講座）

ブラッシュアップセミナー（ビジネスマナー講座）

〈全学年対象〉『先輩と熱く語ろう！』（講師：社会の第一線で活躍する卒業生 18名）

『夢発見！講演会』（講師：キートン山田氏 [声優・ナレーター]）

『自分発見！講演会』（講師：木村政雄氏 [フリープロデューサー]）

ワークショップ（10テーマ）

働く現場見学ツアー（郵船航空サービス㈱、三菱電機㈱稲沢製作所）いずれの企画も参加者の満足度は非常に高く、2007年度も継続して実施する予定です。

## インターンシップ

インターンシップとは、「大学教育の一環として、学生が在学中に一定期間、企業等で自分の専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行う教育プログラム」です。経済社会や産業構造の急速な変化に対応するとともに、職業観、就労意識の高い人材の育成を目指して、1997年中部通産局(当時)の呼びかけにより、東海地域の大学・企業・行政が参加してインターンシップのモデルプロジェクトが開始され、本学も5名の学生を派遣しました。1999年には「東海地域インターンシップ推進協議会」が創設され、インターンシップの普及・推進のための努力がなされています。

本学においてもインターンシップの意義や重要性を認め、当初から積極的に取り組み、2003年度からは正規の授業科目として「インターンシップ研修」（共通教育科目、選択、通年2単位）を開講しています。授業内容は、インターンシップの意義や職業意識について学ぶ導入研修からはじまり、社会人としての基礎的マナーの修得やワード、エクセル、パワーポイントなどのパソコンスキルの向上をめざす事前研修、夏期休暇中の原則2週間以上にわたる受入機関での実地研修、その就業体験のまとめとしてパワーポイントを使用して発表する就業体験報告会等からなっています。参加学生の数は、2006年度には172名の学生が77の企業や事業体、官庁などで研修を行いました。

なお、2006年度より非単位認定型の自己啓発型インターンシップのサポートを開始し、初年度は14名の学生が実地研修を行いました。

### 2006年度インターンシップ研修先

- 愛知県 ●豊橋市 ●名古屋生涯学習推進センター ●㈱豊田自動織機 ●愛知トヨタ自動車㈱ ●ネットトヨタ東名古屋㈱ ●小島プレス工業㈱
- 名古屋テレビ放送㈱ ●読売新聞中部支社 ●岡谷銅機㈱ ●㈱名鉄百貨店 ●㈱りそな銀行 ●西日本電信電話㈱ ●愛知厚生年金会館
- ㈱ナゴヤキャッスル ●㈱名古屋観光ホテル ●㈱ユーフィット ●廣告社㈱ ●㈱市場調査社 ●日本航空インターナショナル 他多数

(2006年度実績)

## 企業別内定状況

2007年5月1日現在

業種	企業名	男	女	計
建設・不動産	鶉飼農園	1		1
	徳倉建設		1	1
	矢作建設工業	1		1
	大林組		1	1
	プレサンスコーポレーション	1		1
	誠和工業		1	1
	北海道トラック		1	1
	トーエネック	1		1
	山田商会	1	3	4
	川瀬電気工業所		1	1
	ミサワホーム東海	1	1	2
	積水ハウス	2	3	5
	大和ハウス工業	1		1
	エス・バイ・エル		1	1
	旭化成ホームズ	1		1
	住友林業ホームサービス	1		1
	トヨタホーム愛知		1	1
富士ハウス	1		1	
サンヨーハウジング名古屋	1		1	

業種	企業名	男	女	計
	名古屋セキスイハイム	1		1
	福建ホーム	1		1
	エサキホーム	1		1
	三重セキスイファミエス	1		1
	オンテックス	1		1
	YKK AP	2		2
	スマイルタイム	1		1
	アイジー工業	1		1
	レオパレス21	1	1	2
	三井不動産販売	1	1	2
	住友不動産販売		1	1
	トヨタエンタプライズ	1	3	4
	シービー・リチャードエリス	1		1
	積和不動産中部		1	1
	東急リパブル	1		1
	三菱UFJ不動産販売	1		1
	グローバル・ファンデックス	1		1
スターツコーポレーション	1	1	2	
リゾートソリューション	1		1	

業種	企業名	男	女	計
各種製造	ブルーボックス		2	2
	伊藤園	2		2
	カネハツ食品		1	1
	敷島製パン	1		1
	ヤマモリ		1	1
	森永乳業	1		1
	金印		1	1
	コカ・コーラセントラルジャパン		1	1
	鈴木栄光堂		1	1
	ヴィノスやまざき	1		1
	小布施堂		1	1
	サカイナゴヤ		1	1
	クロスプラス		2	2
	オンワード樺山	1	3	4
	イギン		1	1
	ミキハウス	1		1
	東亜		1	1
小島衣料		2	2	
ファイブフォックス		1	1	

業種	企業名	男	女	計
	ショーワグローブ	1	1	
	トリップ・インターナショナル・ジャパン	1	1	
	ユニクロ	1	1	
	ペイクルーズ	2	2	
	早川繊維工業	1	1	
	東洋プライウッド	1	1	2
	ニトリ	1	1	2
	サンメッセ	1	1	
	竹田印刷	1	1	
	大日本印刷	2	1	3
	凸版印刷	2	2	
	東洋印刷工業	1	3	4
	新日本印刷	1	1	
	大阪シーリング印刷	1	1	
	あいち印刷	1	1	
	イビデン	2	1	3
	日本メナー化粧品	2	2	
	三甲	1	1	
	東海ゴム工業	2	2	
	ノエビア	1	1	
	東レ	1	1	
	福助工業	1	1	
	シャンソン化粧品	1	1	
	シーボン	1	1	
	科研製薬	1	1	
	キッセイ薬品工業	1	1	
	持田製薬	1	1	
	大正製薬	1	1	
	中外製薬	1	1	2
	ノバルティスファーマ	1	1	
	I N A X	1	3	4
	管我ガラス	1	1	
	日本特殊陶業	6	6	
	ノリタケカンパニーリミテド	1	2	3
	日本ガイシ	2	2	
	ノリタケボンデッドアブレーション	1	1	
	日本陶器	2	2	
	トステム	1	1	
	アドマテックス	1	1	
	新日本製鐵	1	1	
	大同特殊鋼	1	1	2
	日新製鋼	2	2	
	神戸製鋼所	1	1	
	中央発條	2	2	4
	Y K K	1	1	
	リンナイ	2	2	
	岡村製作所	1	1	
	大仙	1	1	
	T H K	1	1	
	中央可鍛工業	1	1	
	松尾製作所	1	1	
	京都機械工具	1	1	
	大川精螺工業	1	1	
	ライン精工	1	1	
	アスカ	1	1	
	旭精機工業	1	1	
	I S O W A	1	1	
	協豊製作所	1	1	
	豊田自動織機	1	3	4

業種	企業名	男	女	計
	アサダ	3	3	
	富士ゼロックス	1	1	2
	富士機械製造	1	1	
	豊和工業	1	1	
	T R A D	1	1	
	ヤマザキマザック	3	2	5
	村田機械	1	1	
	ブラザー工業	4	4	
	オークマ	2	2	
	富士機工	1	1	
	三菱重工業	4	1	5
	川崎重工業	1	1	
	鬼頭工業	1	1	
	森精機製作所	4	4	
	大豊精機	1	1	
	石川島播磨重工業	1	1	
	三井造船	1	1	
	カワサキプレジジョンマシナリ	1	1	
	セガサミーホールディングス	1	1	
	アルプス電気	1	1	
	C K D	2	1	3
	東芝	3	3	
	東洋電機	1	1	
	住友電装	2	1	3
	日本電気	2	1	3
	日東工業	2	1	3
	三菱電機	4	4	
	ホシザキ電機	1	1	2
	富士通	1	1	
	マキタ	4	3	7
	日本アイ・ビー・エム	2	2	
	日立製作所	2	1	3
	S U N X	2	1	3
	富士通テン	1	1	
	日本圧着端子製造	1	1	
	寺崎電気産業	1	1	
	ダイコク電機	2	2	
	サンコーシャ	1	1	
	アンデン	1	1	
	住友電気工業	1	1	
	生方製作所	1	1	
	パツファロー	1	1	
	松下エコシステムズ	1	1	
	デル中国有限公司	1	1	
	ソニー・エムシーエス -宮テック	1	1	
	アップルコンピュータ	1	1	
	日立アプライアンス	1	1	
	アイシン・エイ・ダブリュ	14	1	15
	愛三工業	1	1	
	小島プレス工業	1	1	
	太平洋工業	1	1	
	津田工業	1	1	
	トヨタ車体	2	2	
	東海理化電機製作所	3	3	
	デンソー	1	1	
	林テレンプ	5	1	6
	アイシン精機	8	2	10
	大豊工業	1	1	
	シロキ工業	1	1	2

業種	企業名	男	女	計
	豊田鉄工	1	1	
	シミズ工業	1	1	
	日産自動車	1	1	
	東海プレス工業	1	1	
	小松製作所	1	1	
	アイシン・イーアイ	1	1	
	中部工業	1	1	
	大同メタル工業	2	2	4
	トヨタ紡織	3	2	5
	エンケイグループ	1	1	
	レシップ	1	1	
	ジェイテクト	4	1	5
	北斗	1	1	
	エース産業	1	1	
	多摩川精機	1	1	
	アールスティダイモールド浜松	1	1	
	古河ユニック中部販売	1	1	
	愛知時計電機	1	1	
	ニデック	2	2	
	浜松ホトニクス	1	1	
	富士通VLSI	1	1	
	モビテック	1	1	
	T I B C	1	1	
	樋口製作所	1	1	
	シヤチハタ	3	3	
	河合楽器製作所	1	1	
	ニチアス	1	1	
	トッパン・フォームズ	1	1	2
	ニプロ	1	1	
	日本たばこ産業	1	1	
	ローランド	1	1	
	トップ	1	1	
	ニューギン	1	1	
	平和	1	1	
	トーヨーキッチン&リビング	2	2	
	ブリティッシュ・アメリカン・タロ・ジャパン	1	1	
マスコミ	中日新聞社	1	1	
	浜島書店	1	1	2
	新日本法規出版	3	3	
	プロトコーポレーション	1	2	3
	リクルートHRマーケティング東海	2	2	
	学書	1	1	
	三原社	1	1	
	樫出版社	1	1	
	Z I P - F M	2	2	
	中部ケーブルネットワーク	1	1	
	クラウド	1	1	
	岐阜エフエム放送	1	1	
	ジュピターTV	1	1	
	アサツディ・ケイ	1	1	
	デルフィス	1	1	
	三晃社	2	2	
	アドプランナー	3	1	4
	博報堂	1	1	
	クイック	1	1	
	ジェイアール東海エージェンシー	1	1	
	矢動丸プロジェクト	1	1	
	アドバ	2	2	
	名古屋テレビ映像	1	1	

業種	企業名	男	女	計
商社・流通	リクルーティング・デザイン	1	1	2
	ブランダム		1	1
	有人社		1	1
	ユニコム		1	1
	アドキットインフォケーション	1		1
	リクルートメディアコミュニケーションズ	1		1
	リクルート	1	4	5
	エン・ジャパン		2	2
	ジェイ・ブロード		1	1
	ジェイ・アイ・シー	1		1
	共同PR	1		1
	ウェブスタージャパン		1	1
	東京大有社		1	1
	種清		1	1
	菱食	1		1
	伊藤忠食品		1	1
	マルイチ産商		1	1
	チタカ・インターナショナル・フーズ		1	1
	ケーオー産業		1	1
	ドンク		1	1
	キャメル珈琲		1	1
	信友	1		1
	タキヒヨー		2	2
	瀧定名古屋	1	4	5
	豊島		4	4
	綿常		1	1
	丹羽幸	1		1
	サンエーインターナショナル		1	1
	丸真		1	1
	バリカ		1	1
	Billabong	1		1
	カワサキ	1		1
	スズケン	1	1	2
	スギヤマ薬品		1	1
	河上薬品商事	1		1
	杏林堂薬局		1	1
	アルフレッサ	2		2
	アステラス製薬		1	1
	三愛石油	1		1
	エザキ	1		1
	ヤマカ	1		1
	槌屋	1	2	3
	花王販売	1		1
	ミルボン		1	1
	LVJグループ(ルイ・ヴィトン ジャパン)	1	1	2
	フィットハウス		1	1
	エルメスジャパン		1	1
	大同興業	1	1	2
	小河商店	1		1
	住金物産	1		1
メタルワン		1	1	
進和	2		2	
中央工機	1		1	
八神製作所		2	2	
理研産業	1	3	4	
新潟リコー	1		1	
ダイキンエアテックノ中京		1	1	
岐阜商事		1	1	
岡谷機販	1		1	

業種	企業名	男	女	計
	富士通ビジネスシステム	1	1	2
	エイデン		1	1
	マルエム商会	1		1
	ダイワボウ情報システム		2	2
	オーエスジー・コーポレーション	1		1
	ヤマダ電機	1		1
	豊通エレクトロニクス	1		1
	デンソー中部	1		1
	明治電機工業	2		2
	あずみ		1	1
	メガネの和光		2	2
	キクチメガネ		1	1
	愛眼		1	1
	名古屋眼鏡		1	1
	中部オプティカル(メガネ赤札堂)		1	1
	ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・リンク		1	1
	ベリテ		1	1
	サンゲツ		1	1
	サンレジャン		1	1
	大塚商会		2	2
	光文堂		1	1
	三菱電機ビジネスシステム	1		1
	栗田商会		1	1
	エッサム		1	1
	リコー中部		1	1
	オリンピア	1		1
	富士ゼロックス東京		1	1
	服部家具店		1	1
	愛知トヨタ自動車	4	1	5
	トヨタカローラ愛豊	1		1
	ネットトヨタ中部		1	1
	ホンダベルノ愛知		1	1
	ネットトヨタ東名古屋		1	1
	トヨタカローラ福岡	1		1
	愛知スズキ販売		1	1
	ヤマハモーターパワープロダクツ	1		1
	創寫館		1	1
	三洋堂書店	1		1
	精文館書店		1	1
	中央社		1	1
	ナレッジ・デザイン	1		1
	中央出版	1		1
	まなびロード		2	2
	藤久		2	2
	星野楽器		1	1
	日比谷花壇	1		1
	ハピネット	1		1
	USEN	2		2
	オークローンマーケティング	1		1
	CMC	1		1
ピーディーアール	1		1	
メディア犬山	1		1	
パイオテック		1	1	
公武堂		1	1	
松坂屋	4	2	6	
名鉄百貨店		1	1	
イオン		1	1	
ヤマナカ		2	2	
ユニー	1	2	3	

業種	企業名	男	女	計
	義津屋	1		1
	カネスエ	1		1
	パロー	1		1
	カーマ		1	1
	三交クリエイティブ・ライフ		1	1
	遠鉄百貨店	1		1
	ファミリーマート	1		1
	ジェイアール東海高島屋	1	4	5
	ドイツ三越		1	1
	大光		1	1
	ドン・キホーテ	1		1
	交洋	1	1	2
	N I 帝人商事		2	2
	興和	3	1	4
	豊田通商	2		2
	森村商事		2	2
	三谷商事		1	1
	椿本興業	1		1
	岡谷鋼機		3	3
	長瀬産業		1	1
阪和興業	2	2	4	
名鉄協商		1	1	
日本紙パルプ商事	1		1	
トーマンエレクトロニクス		1	1	
エノテカ		1	1	
テラビックキョーワ	1		1	
金融・保険	大垣共立銀行	5	21	26
	十六銀行	7	11	18
	百五銀行	3	5	8
	三重銀行	2	6	8
	第三銀行		6	6
	愛知銀行	8	2	10
	中京銀行	7	2	9
	名古屋銀行	11	7	18
	日本銀行		1	1
	第四銀行		1	1
	三井住友銀行	4	3	7
	三菱東京UFJ銀行	15	42	57
	みずほフィナンシャルグループ	3	4	7
	佐賀共栄銀行		1	1
	住友信託銀行		2	2
	三井トラストフィナンシャルグループ		1	1
	岡崎信用金庫	4	9	13
	岐阜信用金庫	2	4	6
	瀬戸信用金庫		5	5
	東濃信用金庫	1	2	3
	知多信用金庫		1	1
	北伊勢上野信用金庫	1	1	2
	豊田信用金庫	1		1
	西尾信用金庫		3	3
	尾西信用金庫	1		1
碧海信用金庫	4	4	8	
東海労働金庫	3	1	4	
豊橋信用金庫	1		1	
蒲郡信用金庫		2	2	
浜松信用金庫		1	1	
東春信用金庫	1		1	
豊川信用金庫	1		1	
愛知信用金庫	1		1	

業種	企業名	男	女	計
	関信用金庫	1		1
	いちい信用金庫	1	3	4
	富士信用金庫	1		1
	商工組合中央金庫	1	1	2
	中小企業金融公庫	1		1
	豊橋商工信用組合		1	1
	大和リース		1	1
	大和証券	1	10	11
	岡三証券		3	3
	みずほインバスターズ証券	1	1	2
	東海東京証券	2		2
	丸三証券	1		1
	豊証券		1	1
	日興コーディアル証券	3		3
	野村証券	1	10	11
	新光証券	1	1	2
	SMB Cフレンド証券	2		2
	S B I証券	1		1
	三菱U F J証券	5		5
	第一商品		1	1
	朝日生命保険	2		2
	住友生命保険	2	4	6
	日本生命保険	1	8	9
	富国生命保険		1	1
	第一生命保険	2	9	11
	ニッセイ同和損害保険	1	1	2
	共栄火災海上保険		1	1
	損害保険ジャパン	1	14	15
	アメリカンファミリー生命保険会社	2		2
	日本興亜損害保険	1	1	2
	あいおい損害保険	2	2	4
	三井住友海上火災保険	1	22	23
	明治安田生命保険	1	4	5
	東京海上日動火災保険	14		14
	あいおい事務サービス	1		1
	エムエステイ保険サービス	1		1
運輸・通信	愛知海運	1	1	2
	近鉄エクスプレス	2		2
	西濃運輸	1		1
	中京海運		1	1
	東陽倉庫		1	1
	名古屋鉄道		1	1
	東海旅客鉄道	1	9	10
	日本通運	2	3	5
	日本航空インターナショナル	1		1
	キムラユニティー	2		2
	名港海運		4	4
	日本トランスシティ	1	2	3
	全日本空輸	1	9	10
	トヨタ輸送		1	1
	三協		2	2
	東山	1		1
	遠州鉄道	1		1
	トヨフジ海運	1		1
	宝交通 (宝グループ)	1		1
	日本郵便通送	1		1
	名鉄ゴールド航空		1	1
	西日本旅客鉄道	1		1
	三菱倉庫	1		1

業種	企業名	男	女	計
	上組	1		1
	近物レックス	1		1
	三井倉庫		1	1
	日新	1		1
	エアセントラル		1	1
	郵船航空サービス	1		1
	大森廻漕店		1	1
	マースク(A. P.モラーグループ)	1		1
	中京陸運		1	1
	中部国際空港	1		1
	豊通物流	2	2	4
	シンガポール航空	1		1
	日本ロジテム	2		2
	J A L エクスプレス	1		1
	清和海運	1		1
	佐川急便	1		1
	ジェイエア	1		1
	松下ロジスティクス	1		1
	トランスコンテナ	1		1
	伊勢湾倉庫	1		1
	日本エアコミューター	1		1
	エミレーツ航空		1	1
	エヌティティドコモ東海	1		1
	中部テレコミュニケーション	1	1	2
	西日本電信電話	4	4	8
	豊通シスコム	2	2	4
	ソフトバンクBB	1		1
	ソフトバンクモバイル	2		2
各種サービス	ナゴヤキャッスル		1	1
	名古屋観光ホテル	1	1	2
	名古屋東急ホテル		1	1
	プリンスホテル		1	1
	ジェイアール東海ホテルズ	1		1
	近畿日本ツーリスト	1	3	4
	トップツアー		2	2
	日本旅行	3		3
	名鉄観光サービス	1		1
	エイチ・アイ・エス	2	1	3
	ジェイアール東海ツアーズ	2		2
	J T B サポート中部		1	1
	郵船トラベル	1		1
	クラブツーリズム	1	2	3
	J T B 中部	3	2	5
	ジェイティービートラベランド	2		2
	J T B 東海		2	2
	リゾートトラスト	2	3	5
	四季		1	1
	大松	1		1
	コロナ		1	1
	大木家	1		1
	ワタミフードサービス	1		1
	ジェリーフィッシュ	1		1
	神戸屋商事		1	1
	ジャパンエリアサービス	1		1
	パラゴン		1	1
	矢場とん		1	1
	共友リース	2	1	3
	トヨタレンタリース名古屋	1		1
	レンタルのニッケングループ	1		1

業種	企業名	男	女	計
	キリックスリース	2	1	3
	セントラルオートリース	1	1	2
	U F J セントラルリース	2	3	5
	日本カーソリューションズ		1	1
	日立キャピタル	1		1
	セントラルファイナンス	2	1	3
	オリエントコーポレーション		1	1
	イオンクレジットサービス		1	1
	中部しんきんカード		1	1
	クレディセゾン		1	1
	トヨタファイナンス	4		4
	ダイヤモンドシティ		1	1
	イビソク		1	1
	名南経営		1	1
	ワンスアラウンド		1	1
	加藤洋一法律事務所		1	1
	川北壽朗税理士事務所		1	1
	特許業務法人 しんめいセンチュリー	2		2
	細江会計事務所		1	1
	林会計事務所		1	1
	長島・大野・常松法律事務所		1	1
	中村公認会計士税理士事務所		1	1
	松下了司税理士事務所		1	1
	アンダーソン・毛利・友常法律事務所		1	1
	小川総合法律特許事務所		1	1
	石倉誠会計士税理士事務所		1	1
	佐藤特許事務所		1	1
	御園サービス		1	1
	中日コプロ	1		1
	出雲殿グループ		1	1
	パソナ		3	3
	ワールドストアパートナーズ		1	1
	ビーブルスタッフ		1	1
	J A L スカイ名古屋		5	5
	ムラヤマ	1		1
	J A L スカイサービス		1	1
	テンプスタッフ		1	1
	善都		1	1
	シェイプアップハウス		2	2
	ヒューマンリソシア		1	1
	日研総業		1	1
	平安閣		1	1
	スタジオ・アリス		2	2
	J A L ウェイブ		1	1
	E L B E C 教育図書センター		2	2
	アデコ	1	2	3
	リクルートスタッフィング		1	1
	住友商事フィナンシャルマネジメント		1	1
	ジェイエイシージャパン		1	1
	トヨタファイナンシャルサービス		1	1
	エイ・ダブリュ・サービス		1	1
	A N A エアサービス東京		1	1
	エスピーエフ		1	1
	J A L ウェイズ		1	1
	J A L スカイ関西		3	3
	三洋商店		1	1
	レアール		1	1
	インテリジェンス	3	2	5
	ティーファス		1	1

業種	企業名	男	女	計
	中部国際空港旅客サービス	1	1	
	ダイヤモンド・ビッグアンドロード	1	1	
	グッドウイル・グループ	1	1	
	ジェイアール東海パッセンジャーズ	1	1	
	ラストリゾート	1	1	
	豊通ヒューマンリソース	17	17	
	ベンリーコーポレーション	1	1	2
	ディップ	5	5	
	クレールコーポレーション	1	1	
	プラス	1	1	
	ルネサンス	1	1	
	総合スタッフ・オブショナリー	1	1	
	静銀ビジネスクリエイト	1	1	
	CALM	1	1	
	レッティ	1	1	
	電通マネジメントサービス	1	1	
	Was seコーポレーション	2	2	
	日本シルバーサービス (桜湯園)	1	1	
	アソブロック	1	1	
	ベンチャーコントロール	1	1	
	パソナキャレント	1	1	
	CIT	1	1	
	デジット	1	1	
	フェローズ	1	1	
	ベストブライダル	1	1	
	都市経営戦略研究所	1	1	
	パイロットプロジェクト	1	1	
	カトープレジャーグループ	1	1	
	ジョブコム	1	1	
	川口節子バレエ団	1	1	
	アールエイティ	1	1	
	ダンロップスポーツエンタープライズ	1	1	
	イマジンプラス	1	1	
	エム・シー・アンド・ピー	1	1	
	サンメンテナンス工機	1	1	
	ガジェットウェア	1	1	
	西友	1	1	
	キャリアアマト	1	1	
情報処理	インテック	4	4	
	住商情報システム	1	1	
	日本電子計算	1	1	
	CSKシステムズ	1	1	
	ダイテック	1	1	
	エス・アール・エー	1	1	
	TKC	1	1	
	シーイーシー	1	1	
	日立システムアンドサービス	1	1	
	ユーフィット	5	8	13
	トスコ	1	1	
	東芝情報システム	1	1	
	中部日本電気ソフトウェア	5	3	8
	ユニシステム	1	1	
	日本システムウェア	2	2	
	システムリサーチ	1	1	
	日本インフォメーション	1	1	
	オービックシステムエンジニアリング	1	1	
	共立コンピューターサービス	1	1	
	富士通中部システムズ	2	2	4
	富士通エフ・アイ・ピー	1	1	

業種	企業名	男	女	計
	シーライン	1	1	
	メイテック	1	1	
	富士ソフト	1	1	
	三菱電機メカトロニクスソフトウェア	1	1	2
	ホロンシステム	1	1	
	東邦ガス情報システム	2	1	3
	エヌ・ティ・ティ・システム開発	1	1	2
	パインシステムズ	1	1	
	豊田ハイシステム	1	1	
	タック	2	2	
	メイテックコム	1	1	
	エヌワーク	1	1	
	トヨタコミュニケーションシステム	5	3	8
	デンソークリエイト	1	1	
	日本土地評価システム	1	1	
	メイケイ	1	1	
	JFEシステムズ	1	1	
	アビームシステムズ	1	1	
	オープンシステムテクノロジー	1	1	
	日本テクシード	1	1	
	ジェイアール東海情報システム	2	2	
	アイシティ情報	1	1	
	トヨタデジタルクルーズ	1	1	
	アルゴグラフィックス	1	1	
	クオリカ	1	1	
	NECネクサソリューションズ	2	2	
	メディコムソリューション	1	1	
	トヨタマップマスター	1	1	
	オービック	6	6	
	NTTデータ東海	1	2	3
	中電シーティーアイ	1	1	2
	サイバーエージェント	1	1	
	シークス	1	1	
	ユーエフジェイアイエス	1	1	
	TIS	1	1	
	デボウ	1	1	
	日立システムバリュー	1	1	
	アビームシステムエンジニアリング	1	1	
	アテック	1	1	
	東京海上日動システムズ	1	1	
	アイ・ティー・ウエーブ	1	1	
	富士通関西中部ネットテック	1	1	
	光和設計グループ	1	1	
	IBMビジネスコンサルティングサービス	1	1	
	日本ソフトウェア	1	1	
	MCOR	1	1	
	アイシン・エンジニアリング	2	2	
	日本ビジネスコンピューター	1	1	
	グローバルエンジニアリング	1	1	
	テクノ・セブシステムズ	1	1	
	トヨタテクニカルディベロップメント	2	1	3
	サン	1	1	
	データ・デザイン	1	1	
	コスモクリエーション	1	1	
	ニッセイコム	1	1	
教育	愛知県教育委員会	1	5	6
	神奈川県教育委員会	1	1	
	岐阜県教育委員会	1	1	2
	名古屋市教育委員会	1	2	3

業種	企業名	男	女	計
	三重県教育委員会	1	1	
	福岡県教育委員会	1	1	
	知立市教育委員会	1	1	
	南山学園	1	1	
	名城大学	1	1	
	椋山女学園	2	2	
	梅村学園 (中京大学)	1	1	
	尾関学園	1	1	
	愛知医科大学	1	1	
	至学館高等学校	1	1	
	津田学園	1	1	
	帝京大学・可児中・高等学校	1	1	
	愛知真和学園 (大成中学・高等学校・愛知西成高等学校)	1	1	
	藤田学園 (藤田保健衛生大学)	3	3	
	南山学園 (聖霊中学・高等学校)	1	1	
	美濃加茂学園 (美濃加茂中学高等学校)	1	1	
	豊川高等学校	1	1	
	暁学園 (暁中学・高等学校)	1	1	
	青山学院	1	1	
	萩光塩学院	1	1	
	星稜高等学校 (学校法人稲置学園)	1	1	
	宮崎第一中学校・高等学校	1	1	
	佼成学園 (中学校・高等学校)	1	1	
	エヌイーホールディングス	2	2	
	イーオン	3	3	
	さなる	1	1	
	明倫ゼミナール	1	1	
	秀英予備校	2	2	
	野田塾	1	2	3
	NOVA	2	2	
	教育企画 (名進研)	1	2	3
	東海プロセスサービス 志門塾	1	1	
	えいすうグループ	2	2	
	プロジェクトリーズ	1	1	
	ヤマハ英語教室	1	1	
	佐鳴予備校	1	1	
	オール5	1	1	
	ジーニアスエデュケーション	1	1	
	ECC ジュニアECC・BS教室	1	1	
	日本トータルアカデミー	1	1	
公務・公益・団体	中部電力	1	2	3
	東邦瓦斯	1	3	4
	国税専門官	1	1	2
	愛知県警察本部	7	6	13
	愛知県人事委員会	2	2	4
	瀬戸市役所	2	2	
	豊田市役所	1	1	2
	春日井市役所	1	1	
	一宮市役所	1	1	
	名古屋市人事委員会	1	4	5
	名古屋市消防局	2	2	
	大阪府警察本部	1	1	
	岐阜県人事委員会	1	1	
	岐阜県警察本部	2	2	4
	岐阜市役所	2	2	
	警視庁	1	1	
	三重県人事委員会	1	1	
	東海市役所	1	1	
	岡崎市役所	3	1	4

業種	企業名	男	女	計
	大府市役所	1		1
	豊橋市役所		1	1
	多治見市役所		1	1
	西尾市役所		1	1
	国家公務員Ⅱ種	1	1	2
	裁判所事務官Ⅱ種		1	1
	半田市役所		2	2
	桑名市役所	1		1
	防衛庁(自衛隊幹部候補生)	1	1	2
	愛知県人事委員会(学校事務)		1	1
	東浦町役場	1		1
	高岡市役所	1		1
	幡豆町役場		1	1
	家庭裁判所調査官補Ⅰ種	1		1
	武豊町役場		1	1

業種	企業名	男	女	計
	愛知県警察職員	1	2	3
	野々市町役場		1	1
	設楽町役場		1	1
	富山市消防局	1		1
	日本貿易振興会		1	1
	国際交流サービス協会	1	1	2
	日本赤十字社愛知県支部	1	1	2
	日本品質保証機構	1		1
	愛知県国民健康保険団体連合会	1		1
	成田国際空港	1		1
	日本郵政公社		2	2
	杏嶺会(一宮西病院)		1	1
	柴田法律特許事務所		1	1
	愛知県信用農業協同組合連合会	2	1	3
	なごや農業協同組合		1	1

業種	企業名	男	女	計
	岐阜県農業協同組合中央会		1	1
	あいち尾東農業協同組合		1	1
	あいち知多農業協同組合		1	1
	岐阜県厚生農業協同組合連合会	1		1
	全国共済農業協同組合連合会 愛知県本部	1	1	2
	あいち豊田農業協同組合		1	1
	愛知県厚生農業協同組合連合会 加茂病院		1	1
	くまざわブックチェーン協同組合	1		1
	JA あいち豊田		1	1
	東美濃農業協同組合	1		1
その他	陶生病院		1	1
	日本医療事務センター		1	1
	聖霊会 聖霊病院	1		1
	マッシモ		1	1
	山口歯科		1	1

業種別・学科別内定状況

業種		建設・不動産	各種製造	マスコミ	商社・流通	金融・保険	運輸・通信	各種サービス	情報処理	教育	公務・公益 ・団体	その他	合計
人文	キリスト	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
	人類文化	5	18	3	14	18	6	12	2	5	7	0	90
	心理人間	4	8	4	8	21	0	10	3	6	8	0	72
	日本文化	3	14	4	21	12	4	10	0	11	4	0	83
外国語	英米	3	33	5	14	25	14	27	5	11	4	0	141
	スペイン・ラテンアメリカ	0	7	2	5	8	7	5	0	1	5	0	40
	フランス	1	4	3	5	4	6	9	2	2	3	0	39
	ドイツ	1	11	1	8	6	2	8	2	2	0	0	41
	アジア	1	14	2	6	7	5	10	1	4	4	1	55
経済	経済	9	47	7	19	76	10	21	10	6	14	1	220
経営	経営	5	42	8	22	89	8	38	7	2	11	0	232
法	法律	8	25	7	13	44	4	15	6	5	29	1	157
総合政策	総合政策	14	48	6	40	62	18	33	11	4	13	2	251
数理情報	情報通信	0	12	0	5	6	7	2	45	0	1	0	78
	数理科学	1	22	2	6	8	5	4	33	6	2	0	89
合計		55	305	54	186	389	96	204	127	65	105	5	1,591

※就職希望者のうちの内定者

# 留学・提携校マップ

南山大学では、学生が在学中に4ヶ月間から2年間、海外の大学で勉強することを「留学」と定める「留学制度」を設けています。この制度を利用して留学すると、留学先大学で修得した単位のうち、学部では30単位(大学院では10単位)までが南山での単位として認められます。

留学制度には①交換留学②推薦留学③認定留学の3種類があります。

①交換留学とは南山大学と交流協定を結んでいる大学に留学するもので、協定校同士が互いの学生を交換する性格を持つ制度です。学内選考で選ばれた学生が協定校に留学します。留学先大学の授業料が免除されます。

また、ISEP(The International Student Exchange Program)は世界各地の大学間の相互交流を促進しているアメリカ合衆国の非営利法人で、アメリカ合衆国を始め39ヶ国275校の高等教育機関が加盟し、加盟大学への交換留学が可能です。

②推薦留学とは語学の習得を目的とする留学で、海外の指定大学に、大学の推薦を受けて留学するものです。①と同様に学内選考があります。留学先大学と南山大学両方の授業料を負担しますが、申請すれば南山大学の派遣留学奨学金が受けられます。

③認定留学とは自分の希望する海外の大学に自由に留学できるというものです。出願や入学に必要な手続きは、国際教育センターでアドバイザーを受けながら自分で行います。授業料及び奨学金については②の推薦留学と全く同じです。

交換留学・推薦留学・認定留学のほかにも、授業の一環として独自の留学プログラムを設けている学科もあります。総合政策学科の開講科目「外国語Ⅰ・Ⅱ」は、2年次の長期休暇を利用して、提携する7つの国・地域の大学の中から1つを選んで留学する「短期アジア留学プログラム(通称NAP)」であり、毎年100名ほどの学生が参加します。また、英米学科(アメリカ事情実習)、スペイン・ラテンアメリカ学科(スペイン語実習)やフランス学科(フランス語実習)でも文化や社会に触れながら、集中的に語学を学べる留学プログラムがあります。

## 連合王国

**交換留学 (4校)**  
Lancaster University  
SOAS, University of London  
European Business School London  
University of Leeds

## 推薦留学 (1校)

University of East Anglia

## 認定留学先大学 (例)

University of Birmingham  
University of Edinburgh  
University of Exeter  
University of Manchester  
University of Nottingham  
University of Oxford  
University of Sussex

## スペイン

### 推薦留学 (2校)

University of Salamanca  
Pontifical University of Salamanca  
**認定留学先大学 (例)**  
University of Alcalá  
University of Barcelona  
University of León  
University of Málaga  
University of Valladolid

## フランス

### 交換留学 (2校)

The University of Provence (Aix-Marseille I)  
University of Orleans

### 認定留学先大学 (例)

Catholic University of the West, Angers  
University of Angers  
University Paris-Sorbonne  
Catholic University of Lyons  
University Paul Valéry  
University Stendhal-Grenoble III

## ベルギー

### 認定留学先大学 (例)

Free University of Brussels

## 香港

### 交換留学 (1校)

香港中文大学

## ドイツ

### 交換留学 (2校)

Free University of Berlin  
Leipzig Graduate School of Management

### 認定留学先大学 (例)

University of the Ruhr, Bochum  
University of Cologne  
University of Trier  
University of Würzburg

## スウェーデン

### 交換留学 (1校)

Stockholm University

## オーストリア

### 認定留学先大学 (例)

University of Vienna

## イタリア

### 認定留学先大学 (例)

University for Foreigners, Siena

## オランダ

### 交換留学 (1校)

Zuyd University

## マレーシア

### 交換留学 (1校)

University of Science, Malaysia

## シンガポール

### 認定留学先大学 (例)

The National University of Singapore

## インドネシア

### 交換留学 (2校)

University of Indonesia  
Merdeka University Malang  
Padjadjaran University

## ベトナム

### 認定留学先大学 (例)

Hanoi Foreign Language College

## 台湾

### 交換留学 (1校)

輔仁大学

### 認定留学先大学 (例)

國立成功大学

## フィリピン

### 交換留学 (1校)

Ateneo de Manila University

### 認定留学先大学 (例)

University of the Philippines Diliman

## 韓国

### 交換留学 (3校)

延世大学  
韓国カトリック大学  
韓南大学

## 中国

### 認定留学先大学 (例)

西北大学  
北京語言大学  
華東師範大学  
上海師範大学  
復旦大学  
清華大学  
浙江大学

## タイ

### 交換留学 (2校)

Thammasat University  
Khon Kaen University

## アメリカ合衆国

### 交換留学 (29校)

Arizona State University  
Bowling Green State University  
California State University, Fullerton  
DePauw University  
Dickinson College  
Eckerd College  
Elmira College  
Georgetown University  
Indiana University, Bloomington  
The University of Iowa  
James Madison University  
John Carroll University  
University of Massachusetts at Amherst  
University of Missouri-Columbia  
The University of Nebraska-Lincoln  
Northern Kentucky University  
University of Notre Dame  
Oakland University  
The Ohio State University  
Pacific University  
Purdue University  
St. Lawrence University  
Saint Louis University  
University of Wisconsin-Madison  
University of Wisconsin-Milwaukee  
コンソーシアム  
ISEP (The International Student Exchange Program)

### 推薦留学 (2校)

University of Alberta  
University of Calgary

### 認定留学先大学 (例)

University of British Columbia  
The University of Manitoba  
University of Montreal  
York University

## メキシコ

### 認定留学先大学 (例)

University of Guadalajara  
National Autonomous University of Mexico

## ペルー

### 認定留学先大学 (例)

Ricardo Palma University  
Pontifical Catholic University of Peru

## アルゼンチン

### 認定留学先大学 (例)

University of Buenos Aires

## ニュージーランド

### 認定留学先大学 (例)

University of Canterbury  
University of Waikato

## オーストラリア

### 交換留学 (3校)

The Australian National University  
Griffith University  
Macquarie University

### 認定留学先大学 (例)

Monash University  
University of New South Wales  
University of Wollongong  
University of Melbourne  
University of Queensland

## 国別協定校数

2007年5月現在

留学先国	合計
アメリカ合衆国	29
連合王国	4
韓国	3
オーストラリア	3
インドネシア	2
タイ	2
フランス	2
スペイン*	2
カナダ	2
中国(香港)	1
台湾	1
マレーシア	1
フィリピン	1
ドイツ	2
スウェーデン	1
オランダ	1
合計(16カ国・地域)	57

\*推薦留学に準ずる扱い

## 留学先国別派遣留学生数

2006年度

留学先国	交換留学生	推薦留学生	認定留学生	合計
アメリカ合衆国	40	2	1	43
フランス	1	0	14	15
中国	0	0	11	11
オーストラリア	5	0	1	6
カナダ	3	2	1	6
イギリス	3	1	1	5
スペイン	0	0	3	3
スウェーデン	2	0	0	2
台湾	0	0	1	1
タイ	1	0	0	1
韓国	1	0	0	1
ペルー	0	0	1	1
オランダ	1	0	0	1
合計(13カ国・地域)	57	5	34	96

## 学部・学科別派遣留学生数

2006年度

学部	学科	交換留学生	推薦留学生	認定留学生	合計
人文	心理人間	1	0	0	1
学部計		1	0	0	1
外国語	英米	50	0	2	52
	スペイン・ラテンアメリカ	0	0	4	4
	フランス	2	0	14	16
	アジア	1	0	12	13
学部計		53	0	32	85
経済	経済	1	0	1	2
法	法律	1	0	1	2
総合政策	総合政策	1	5	0	6
合計		57	5	34	96

# 協定校別留学実績

## 協定校および派遣・受入学生数

2007年5月1日現在

大 学 名	国 名	所 在 地	協定締結日	2006年度	
				受入数	派遣数
Arizona State University	アメリカ合衆国	アリゾナ州	1991.10.22	2	1
Bowling Green State University	アメリカ合衆国	オハイオ州	1978.5.9	0	1
California State University, Fullerton	アメリカ合衆国	カリフォルニア州	2001.7.19	3	0
DePauw University	アメリカ合衆国	インディアナ州	1977.3.2	0	0
Dickinson College	アメリカ合衆国	ペンシルベニア州	1987.2.23	4	1
Eckerd College	アメリカ合衆国	フロリダ州	1983.3.30	1	0
Elmira College	アメリカ合衆国	ニューヨーク州	1978.5.23	0	0
Georgetown University	アメリカ合衆国	ワシントンDC	1991.12.15	3	1
Hendrix College	アメリカ合衆国	アーカンソー州	1984.4.24	0	0
Illinois State University	アメリカ合衆国	イリノイ州	1975.4.25	0	1
Indiana University, Bloomington	アメリカ合衆国	インディアナ州	1992.1.22	7	5
James Madison University	アメリカ合衆国	バージニア州	1995.4.27	1	0
John Carroll University	アメリカ合衆国	オハイオ州	2005.1.5	1	2
Northern Kentucky University	アメリカ合衆国	ケンタッキー州	2006.5.18	1	0
Oakland University	アメリカ合衆国	ミシガン州	1977.2.10	3	2
The Ohio State University	アメリカ合衆国	オハイオ州	2004.1.28	1	1
Purdue University	アメリカ合衆国	インディアナ州	1992.5.20	1	0
Saint Louis University	アメリカ合衆国	ミズーリ州	1984.3.28	0	0
St. Lawrence University	アメリカ合衆国	ニューヨーク州	1984.3.1	2	0
The University of Iowa	アメリカ合衆国	アイオワ州	1984.5.21	4	4
The University of Nebraska-Lincoln	アメリカ合衆国	ネブラスカ州	1974.12.10	1	2
The University of North Carolina at Chapel Hill	アメリカ合衆国	ノースカロライナ州	1987.9.10	0	1
University of Hawaii at Manoa	アメリカ合衆国	ハワイ州	1993.3.19	1	3
University of Massachusetts-Amherst	アメリカ合衆国	マサチューセッツ州	1997.5.17	1	6
University of Missouri-Columbia	アメリカ合衆国	ミズーリ州	1992.3.13	3	1
University of Notre Dame	アメリカ合衆国	インディアナ州	1990.6.27	7	0
University of Wisconsin-Madison	アメリカ合衆国	ウィスコンシン州	1990.3.26	2	2
University of Wisconsin-Milwaukee	アメリカ合衆国	ウィスコンシン州	2004.2.12	3	1
Lancaster University	連 合 王 国	ランカスター	1993.5.18	0	0
School of Oriental and African Studies, University of London	連 合 王 国	ロンドン	1997.4.14	3	2
University of Leeds	連 合 王 国	リーズ	2005.11.16	2	0
European Business School London	連 合 王 国	ロンドン	2005.5.20	0	1
Padjadjaran University	インドネシア	バンドン	2000.10.10	1	0
University of Indonesia	インドネシア	ジャカルタ	1996.6.20	0	0
Griffith University	オーストラリア	クイーンズランド州	1983.12.9	0	1
Macquarie University	オーストラリア	ニューサウスウェールズ州	1994.5.30	1	2
The Australian National University	オーストラリア	ACTキャンベラ	1992.1.27	0	1
University of Victoria	カ ナ ダ	ビクトリア州	1995.4.3	0	0
Carleton University	カ ナ ダ	オタワ	2005.6.1	2	3
Hannam University (韓南大学)	韓 国	大田	2000.1.12	2	1
The Catholic University of Korea (韓国カトリック大学)	韓 国	ソウル	1998.2.18	1	1
Yonsei University (延世大学)	韓 国	ソウル	1995.3.18	1	0
Stockholm University	スウェーデン	ストックホルム	2001.4.18	4	1
University of Salamanca	ス ペ イ ン	サラマンカ	1999.3.5	0	0
Pontifical University of Salamanca	ス ペ イ ン	サラマンカ	1999.3.5	0	0
Khon Kaen University	タ イ	コンケン	2000.5.20	1	0
Thammasat University	タ イ	バンコク	1994.2.15	0	1
Fu Jen Catholic University (輔仁大学)	台 湾	新莊	2003.2.25	2	0
The Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	中 国	香港	1992.3.17	1	0
Free University of Berlin	ド イ ツ	ベルリン	2007.2.14	0	0
Leipzig Graduate School of Management	ド イ ツ	ライプチヒ	2000.11.27	0	0
Ateneo de Manila University	フィリピン	ケソン	1996.10.16	0	0
University of Orleans	フ ラ ンス	オルレアン	2005.1.18	2	0
The University of Provence (Aix-Marseille I)	フ ラ ンス	エクサンプロバンス	2004.7.16	1	1
University of Science, Malaysia	マレーシア	ペナン	2000.5.10	2	0
Zuyd University	オ ラ ン ダ	マーストリヒト	2005.6.3	4	1
ISEP (The International Student Exchange Program)			2003.11.21	8	6
			合 計	89	57

※派遣数・受入数については2006年8月1日～2007年5月の人数



# 南山エクステンション・カレッジ

「人間の尊厳のために」をモットーとする南山大学では、一人ひとりの尊厳が尊重される社会の実現を目指して、多くの教育・研究活動を行っています。南山エクステンション・カレッジは、南山大学のもつ「知」を生涯学習の場に提供し、実践する社会教育活動の一環として生涯学習事業を総合的に展開する大学の組織です。

公開講座は、2003年度から“愛知県教育委員会と名古屋市教育委員会の後援”を得て実施しています。

## 公開講座（3部門で構成）（南山大学・名古屋キャンパス）

**コミュニケーション部門** 生涯学習、自己啓発の観点から語学学習へのニーズに対応

- 英語コミュニケーション ●英会話・入門 ●Business English ●スペイン語 ●イタリア語 ●フランス語
- ドイツ語 ●ポルトガル語 ●インドネシア語 ●韓国語 ●中国語 など

**ライフ・サポート部門** 少子化、高齢化の進展に伴う多様な社会的ニーズに対応

- イエス・キリストについて知って欲しいこと ●江戸歌舞伎 ●旧約聖書が現代に語りかけるもの
- パイプオルガンの魅力 ●初心者のための「クラシック発声法」講座 ●太極拳入門（陳式入門十九式） ●手話講座
- 暮らしと法 ●特別企画講座「まると楽しむ名古屋ボストン美術館」 など

**キャリア・アップ部門** 経済社会における個人のキャリア・アップへのニーズに対応

- TOEFL iBT ●Preparation for the TOEFL ●Preparation for the TOEIC ●英語で読むアメリカの政治
- MBA エッセンシャルズ ●大同生命寄付講座「中小企業の経営革新セミナー」
- 学生向け特別講座：公務員試験対策講座、秘書技能検定・準1級対策講座 など

## 学外講座

地方自治体一名古屋市教育委員会、豊明市教育委員会、瀬戸市教育委員会、春日井市教育委員会が行う社会教育活動と連携し、社会人を対象とする講座を学外で開講しています

- 南山大学公開講座（名古屋市） ●南山大学市民講座（豊明市） ●南山大学連携かすがいカレッジ（春日井市）
- 大学コンソーシアムせと（瀬戸市）

## 公開講演会（随時開催）

学内外の専門家・有識者を講師に迎え、学生から社会人までを対象とした講演会を随時開催します。

また、南山大学の多彩な研究所（人類学研究所、南山宗教文化研究所、社会倫理研究所）、研究センター（アメリカ研究センター、ラテンアメリカ研究センター、ヨーロッパ研究センター、アジア・太平洋研究センター、人間関係研究センター、言語学研究センター、経営研究センター）と連携して、公開講演会等の事業への協力活動を行います。

2006年度は、南山大学創立50周年記念基金による果実から、公開講演会を3回開催しました。8月に東京大学名誉教授の養老孟司氏をお迎えして、『これでいいのか日本人～バカの壁を乗り越える～』のテーマで講演会を行いました。12月には、東海旅客鉄道株式会社・代表取締役会長の葛西敬之氏による『民営化と経営戦略』のテーマで開催し、それぞれの講演会は名古屋市教育委員会（名古屋市生涯学習推進センター）との共催でした。

07年3月には、俳優・作家の中村敦夫氏を名古屋キャンパスにお迎えして、『さらば、欲望の国』のテーマで、公開講演会を開催しました。

2007年度は、弁護士・さわやか福祉財団理事長である堀田力氏による『21世紀の医療・福祉とこころ』の演題で講演会を開催の予定です。

お問い合わせ先

南山エクステンション・カレッジ事務室

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地 Phone:052-833-6957

Web ページ <http://www.nanzan-u.ac.jp/EXTENSION/>

E-mail [extension-s@nanzan-u.ac.jp](mailto:extension-s@nanzan-u.ac.jp)

※各講座・講演会等に関するパンフレットの請求などは、上記事務室へお問合せください。

## 人間・文化・国際社会に関わる学術研究を推進

南山大学の学術研究機能を担う研究所・研究センターは、主として人間・文化・国際社会に関わる高度な学術研究を推進しています。最新の研究成果は、研究叢書または、紀要の刊行や学会発表、講演会などの形で広く社会に還元しています。

### 人類学研究所

#### 半世紀の伝統を踏まえ、主にアジアの民族文化を研究

神言会員でW・シュミット博士の系譜を継承すべく設立されて以来、56年程の伝統があります。主にアジア諸地域の伝統的民族文化を研究対象とし、宗教の人類学的研究を中心とする特定テーマの比較研究を実施。アジア民族文化の特性とその形成過程の解明を目的としています。その成果は『南山大学人類学研究所叢書』や『人類学研究所通信』によって公開されています。また『Asian Folklore Studies』（年2回刊行）は、元研究所員のマチアス・エーデル師がほぼ独力で40年間にわたって刊行してきた専門雑誌であり、同師の亡きあと、研究所はこれを正式に引き継いでいます。他に年に数回、大学内外の人類学者による公開講演と、懇話会を開催しています。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/JINRUIKEN/>

### 南山宗教文化研究所

#### 宗教や文化の研究を通じて、対話と相互理解を進める活動を展開

世界の宗教と文化一般に関する学際的な研究、とくに日本を中心とした東洋の宗教と文化に関する研究と、キリスト教・仏教・神道などの諸宗教や現代文化一般との対話と相互理解を促進する活動を行っています。その一環として、日本の宗教に関する学術書や学術雑誌『Japanese Journal of Religious Studies』を編集・刊行し、「科学・こころ・宗教」をテーマとした一連の懇話会や文化間対話を促進する国際ワークショップなどを開催しています。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/SHUBUNKEN/>

### 社会倫理研究所

#### 現代社会における価値と倫理の諸問題を研究

現代の産業社会及び科学技術文明の中で人間性が失われようとしている風潮に対し「人間の尊厳」を回復する方途を探求する新しいタイプの研究所です。そこで経済学、経営学、法学などの社会科学の立場から、現代産業社会における価値と倫理の諸問題を研究すると共に、これらの問題に対する社会的関心を喚起し普及することを目指しており、『社会と倫理』の刊行を始め、シンポジウムの開催等を行っています。このような研究活動と並行して、社会倫理に関する図書類を収集・整理し、経済学、社会科学方法論関係の文献を収集した「松山学術文庫」、トマス主義、自然法論に比重を置いた「水波学術文庫」と共に、利用者の便宜を図っています。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/ISE/>

### アメリカ研究センター

#### 約2万冊の資料を収蔵する、中部地区のアメリカ研究拠点

当研究センターは、学術的なアメリカ研究の推進と、地域研究としてのアメリカ研究の教育面における寄与を目的とし、同時に中部地区におけるアメリカ研究のセンターとしての機能を持つことをその目的としています。そのため、センターの主な活動は、アメリカ研究に関する人文、社会、自然科学分野を中心とした文献・資料を収集し、閲覧・貸出等を通じてそれらを広く利用者に提供することです。例えば国際関係の諸問題・日本とアメリカの関係を学ぶための資料を持った図書室があります。また、年に5~6回、学内外の研究者を集めての講演会、研究会に加え、米国から基調講演者を招聘し、アジア・太平洋諸国のアメリカ研究者と大学院生を集めたNASSS(名古屋アメリカ研究夏期セミナー、2007~2011年)を開催しています。出版活動としては、1979年から『NANZAN REVIEW OF AMERICAN STUDIES』を編集し、年一回刊行しています。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/AMERICA/>

### ラテンアメリカ研究センター

#### 中部圏でのラテンアメリカ研究の中核的存在

我が国ではラテンアメリカに対する関心が低い。その証拠に、大学の学部・学科あるいは研究機関で「ラテンアメリカ」の名が付されたところはいくつあるか挙げてみれば、その少なさに驚くはずだ。当センターは創設以来、ラテンアメリカ研究を深化させるとともに、成果を地域社会へ還元させ、講演会、公開シンポジウム、学術刊行物によってその実像を報告し、中部圏で唯一のラテンアメリカ研究機関としての信頼を得てきた。当センターは発足時より「南山から世界へ」を合言葉に、欧文による研究発表に積極的に取り組んできている。一昨年度より世界各国から投稿される欧文専門雑誌 *Perspectivas Latinoamericanas* を刊行し、従来の刊行物を含めそれらをインターネット上でも購読できるようになった。また、今年度から最新の研究を日本語で読めるよう新たに「ラテンアメリカ研究シリーズ」が出版されている。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/LATIN/>

### ヨーロッパ研究センター

#### 現代ヨーロッパへの理解を促進しつつ、国際システムの総合的把握を目指す

政治・経済・社会など、さまざまな意味において大きな変革の時期を迎えている現代ヨーロッパ。その諸国と日本との相互社会に資することを目的として発足した当センターでは、21世紀におけるヨーロッパの諸分野における動態に関する研究の発展と深化を極めて重要な課題ととらえています。そこで、ヨーロッパ研究に関する社会科学系の分野を中心とした文献・資料の収集と整理、およびその貸出しを行ったり、内外のヨーロッパ研究者を招いての公開セミナーや研究会を実施したりしています。さらに研究活動やセミナーなどの成果を公刊することにより、広く一般に現代ヨーロッパについての理解が普及するよう努めています。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/EUROPE/>

## アジア・太平洋研究センター

## アジア・太平洋諸国との交流とネットワーク拡大を目指す

アジア・太平洋地域は、21世紀の活力ある地域協力を実現するために、ASEAN や APEC を中心とした様々な試みが行われています。こうした現状認識に立脚して、アジア・太平洋研究センターは、北東・東南アジアを中心とするアジアと、オーストラリアを中心とする太平洋地域の政治、経済、社会、文化などの諸分野における総合研究と資料収集、同地域における学術交流とネットワークの形成を目指しています。特に重視する活動は、共同研究の企画と実施、ワークショップやシンポジウムなどを通じた研究成果の刊行などであり、これらの諸活動を通じて、他大学や研究所との交流だけでなく、南山大学の学生と教官の交流の場を提供していきたいと思えます。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/ASIAPACIFIC/>

## 人間関係研究センター

人間関係の諸問題を学際的・行動科学的に探求。  
ラボラトリー方式の体験学習の国内拠点

キリスト教的人間観に立って広く学際的・行動科学的に人間・人間関係の研究および研修を行うことを目的として2000年4月に設立されました。1977年に南山短期大学において誕生した「人間関係研究センター」を基礎とし、日本では数少ない「ラボラトリー方式の体験学習」の教育実践・研究機関として機能しています。人間関係トレーニングの基礎研修やファシリテーター養成研修を行い、さまざまな教育現場(学校、企業、医療・看護、社会教育など)の要請に応じています。2006年4月より NTL Institute とパートナーシップを結んでいます。

研究テーマとして、人間学、人間性心理学、人間中心の教育、こころとからだ、グループアプローチ、組織変革と実に多彩で、学際的協同的に展開され、その成果として紀要「人間関係研究」を毎年発行しています。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/NINKAN/>

## 言語学研究センター

## アジアの拠点として、理論言語学研究を促進

本学の言語学研究の伝統を背景に、アジアにおける研究拠点として2003年4月に設立されました。比較統語論と言語獲得論を中心に、アメリカ、ヨーロッパ、アジアの言語学者と国際共同研究プロジェクトを展開し、また、国内外から研究者を招聘して、ワークショップやコロキウムを開催しています。さらに、『Journal of East Asian Linguistics』等の国際的専門誌編集に携わる教員の事務補助、1999年に本学において設立されたアジア理論言語学会(The Asian GLOW)の事務補助も行ない、アジアの言語学研究を世界に発信する役割も担っています。2006年の人間文化研究科言語科学専攻博士後期課程設置を機に大学院との連携を深め、現在は、同専攻が推進する文部科学省『魅力ある大学院教育イニシアティブ』補助事業を側面から支援し、若手研究者の育成にも取り組んでいます。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/LINGUISTICS/>

## 経営研究センター

## 内外の研究機関と交流しながら、企業の経営情報を収集・分析

我が国の企業、とりわけ東海地域を基盤とする企業の経営情報を収集・分析したり、内外の大学や研究機関と交流して経営と情報管理に関する諸問題の共同研究を推進することが当センターの主要な目的です。財務・労務・マーケティング・会計・意思決定・数理科学・情報科学などの各分野にわたり、いろいろな角度から研究を行っています。国内外から優れた研究者や実務家を招きワークショップや研究会を開催し、それらの成果をセンター報をはじめ、学会を通じて公開しています。多くの海外研究機関との交流が活発になってきていますが、今後さらに中国・台湾・韓国などアジア諸国との関係を強化して、一層充実した共同研究を推進することが、当面の課題となってきています。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/MCENTER/>

## 数理情報研究センター

学部・研究科と社会の連携を推進  
学部・研究科の教育研究の活性化

コンピュータおよび通信工学に関連する技術は驚異的な速さで進歩を遂げています。これからの技術は社会の変化を加速させ、社会活動の範囲を地球規模にまで拡張させています。この急速な変化とそれに対応するための社会からの要請に応え、本学では数理情報学部および大学院数理情報研究科を開設しました。これらの学科・研究科と社会の連携の推進およびそれによる学部・研究科の教育研究の活性化などを目的に、2005年4月に「数理情報研究センター」を設置しました。センターでは、(1)産学協同研究の推進(企業との共同研究、委託研究など)、(2)社会人の再教育(講演会、各種講演会、セミナーの開催)、(3)大学院の活性化(大学院学生に対する奨学金事業、大学院学生に対する研究経費補助事業)を行うこととしています。

## 法曹実務教育研究センター

## 実践的な教育と研究を行い、リーガルクリニック(法律相談)等を実施

南山大学在学中に医療過誤の犠牲となられた、故稲垣克彦氏のご両親の寄附による基金創設を契機に設置されました。法科大学院の学生のための実務教育の一環として「医療事故相談」と「子どもの人権相談」を中心に弁護士による無料法律相談を実施しています。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/HOUSOU/>

# 学部・研究所・研究センター・国際教育センター 逐次刊行物一覧 図書館蔵書数

## 2006年度 逐次刊行物一覧表

発行所名	刊行物名	刊行月	発行部数
南山大学	アカデミア 文学・語学編 第80号	2006. 6	600
	アカデミア 文学・語学編 第81号	2007. 1	620
	アカデミア 人文・社会科学編 第83号	2006. 6	635
	アカデミア 人文・社会科学編 第84号	2007. 1	656
	アカデミア 自然科学・保健体育編 第13号	2007. 1	640
	アカデミア 数理情報編 第7巻	2007. 3	450
南山大学 経済学会	南山経済研究 第21巻 第1号	2006. 6	1,000
	南山経済研究 第21巻 第2号	2006.10	1,000
	南山経済研究 第21巻 第3号	2007. 3	1,000
南山大学 経営学会	南山経営研究 第21巻 第1・2号	2006.11	1,000
	南山経営研究 第21巻 第3号	2007. 3	1,000
南山大学 法学会	南山法学 第30巻 第1号	2006.11	1,000
	南山法学 第30巻 第2号	2007. 1	1,000
	南山法学 第30巻 第3・4号	2007. 3	1,000
南山大学 人文学部 キリスト教学科	南山神学 第30号	2007. 3	500
南山大学 日本文化学科	南山大学日本文化学科論集 第7号	2007. 3	550
人類学研究所	Asian Folklore Studies, Vol.65, No.1	2006. 7	500
	Asian Folklore Studies, Vol.65, No.2	2007. 1	500
	人類学研究所通信 第15号	2007. 3	670

発行所名	刊行物名	刊行月	発行部数
南山宗教文化 研究所	Bulletin No.30	2006. 6	1,500
	研究所報 第16号	2006. 7	800
	Japanese Journal of Religious Studies, Vol.33, No.1	2006. 6	750
	Japanese Journal of Religious Studies, Vol.33, No.2	2006.12	750
社会倫理研究所	社会と倫理 第19号	2006. 5	400
	社会と倫理 第20号	2006.12	400
アメリカ 研究センター	NANZAN REVIEW OF AMERICAN STUDIES Vol. XXVIII	2007. 3	500
ラテンアメリカ 研究センター	PERSPECTIVAS LATINOAMERICANAS NÚMERO 3, AÑO 2006	2007. 3	400
ヨーロッパ 研究センター	ヨーロッパ研究センター報 第13号	2007. 3	400
アジア・太平洋 研究センター	アジア・太平洋研究センター報 第2号	2007. 3	500
人間関係 研究センター	人間関係研究 第6号	2007. 3	700
言語学 研究センター	Nanzan Linguistics, No.3	2006. 6	300
経営 研究センター	南山大学経営研究センター報 第6号	2006. 7	400
国際教育 センター	南山大学国際教育センター紀要 第7号	2007. 3	220

## 蔵書数

2007年3月31日現在

名 称	図書冊数			雑誌種類数			視聴覚資料数		
	和漢書	洋書	計	和漢書	洋書	計	和漢書	洋書	計
図書館 (名古屋・瀬戸合計)	353,068	345,481	698,549	9,623	6,571	16,194	4,463	1,276	5,739
名古屋図書館	301,427	326,260	627,687	8,743	5,749	14,492	2,478	791	3,269
瀬戸図書館	51,641	19,221	70,862	880	822	1,702	1,985	485	2,470
人類学研究所	3,895	6,663	10,558	305	366	671	2	34	36
南山宗教文化研究所	10,960	8,489	19,449	243	300	543	42	21	63
社会倫理研究所	8,527	12,604	21,131	27	71	98	0	0	0
アメリカ研究センター	2,299	14,945	17,244	28	296	324	2	16	18
ラテンアメリカ研究センター	1,258	9,870	11,128	19	287	306	5	40	45
ヨーロッパ研究センター	851	3,461	4,312	9	189	198	1	6	7
アジア・太平洋研究センター	857	4,863	5,720	56	170	226	16	63	79
視聴覚教育センター	11	5	16	3	10	13	3,039	2,903	5,942
法科大学院図書室	5,952	0	5,952	65	0	65	8	0	8
サテライトキャンパス	414	191	605	14	9	23	1	0	1
合 計	388,092	406,572	794,664	10,392	8,269	18,661	7,579	4,359	11,938

## 財務諸表

## 2006年度 資金収支計算書 (2006年4月1日から2007年3月31日まで)

(単位: 千円)

収入の部		
科目	予算額	決算額
学生納付金収入	10,206,580	10,232,255
(授業料)	(7,114,539)	(7,129,921)
(入学金)	(1,102,460)	(1,106,140)
(実験実習料)	(60,157)	(62,298)
(教育実習料)	(8,877)	(8,880)
(施設設備費)	(1,920,547)	(1,925,016)
手数料収入	738,428	795,619
(入学検定料)	(641,887)	(691,246)
(その他の手数料)	(96,541)	(104,373)
寄付金収入	237,692	308,811
補助金収入	1,220,273	1,269,705
資産運用収入	408,301	952,869
資産売却収入	75	81
事業収入	186,547	194,470
雑収入	138,110	144,911
前受金収入	2,259,161	2,399,187
その他の収入	2,660,428	2,570,248
資金収入調整勘定	△ 2,588,870	△ 2,576,732
前年度繰越支払資金	14,709,735	14,709,735
収入の部合計	30,176,460	31,001,159

支出の部		
科目	予算額	決算額
人件費支出	6,224,313	6,122,949
(教員人件費)	(4,388,770)	(4,331,126)
(職員人件費)	(1,648,243)	(1,602,425)
(退職金)	(187,300)	(189,398)
教育研究経費支出	2,920,968	2,628,168
管理経費支出	815,215	776,683
借入金等利息支出	8,123	8,119
借入金等返済支出	111,100	111,100
施設関係支出	1,505,198	1,484,714
設備関係支出	362,643	343,075
資産運用支出	300,000	300,000
その他の支出	1,800,256	1,690,690
法人本部費配賦額	379,537	360,643
資金支出調整勘定	△ 172,623	△ 226,434
次年度繰越支払資金	15,921,730	17,401,452
支出の部合計	30,176,460	31,001,159

(注) 予算額は補正予算額。

## 2006年度 消費収支計算書 (2006年4月1日から2007年3月31日まで)

(単位: 千円)

消費収入の部		
科目	予算額	決算額
学生納付金	10,206,580	10,232,255
手数料	738,428	795,619
寄付金	238,692	312,357
補助金	1,220,273	1,269,705
資産運用収入	408,301	952,869
資産売却差額	1	0
事業収入	186,547	194,470
雑収入	158,533	165,701
帰属収入合計	13,157,355	13,922,976
基本金組入額合計	△ 996,979	△ 904,283
消費収入の部合計	12,160,376	13,018,693

消費支出の部		
科目	予算額	決算額
人件費	6,070,502	5,987,112
教育研究経費	3,754,774	3,460,168
(内、減価償却額)	(833,806)	(831,218)
管理経費	965,252	926,659
(内、減価償却額)	(150,037)	(150,038)
借入金等利息	8,123	8,119
資産処分差額	15,452	20,015
徴収不能引当金繰入額	0	0
法人本部費配賦額	379,537	360,643
消費支出の部合計	11,193,640	10,762,716
当年度消費収入(△支出)超過額	966,736	2,255,977
前年度繰越消費収入(△支出)超過額	△ 5,984,841	△ 6,027,037
基本金取崩額	2,816	0
翌年度繰越消費収入(△支出)超過額	△ 5,015,289	△ 3,771,060

(注) 予算額は補正予算額。

# 貸借対照表

2007年3月31日現在 (単位: 千円)

科 目	2006年度末	2005年度末	増 減
<b>資産の部</b>			
固 定 資 産	24,323,506	24,007,348	316,158
有 形 固 定 資 産	23,355,669	22,524,587	831,082
土 地	1,317,011	1,317,011	0
建 物	14,793,249	14,106,383	686,866
構 築 物	920,734	525,370	395,364
教 育 研 究 用 機 器 備 品	737,902	700,380	37,522
そ の 他 の 機 器 備 品	31,794	44,609	△ 12,815
図 書	5,445,065	5,331,136	113,929
車 両	109,914	133,948	△ 24,034
建 設 仮 勘 定	0	365,750	△ 365,750
そ の 他 の 固 定 資 産	967,837	1,482,761	△ 514,924
電 話 加 入 権	5,162	5,162	0
施 設 利 用 権	16,101	17,279	△ 1,178
長 期 貸 付 金	473,904	485,930	△ 12,026
退 職 給 与 引 当 特 定 資 産	140,000	140,000	0
南 山 大 学 教 室 棟 整 備 資 金	0	234,390	△ 234,390
南 山 大 学 グ ラ ウ ン ド 整 備 計 画 資 金	0	300,000	△ 300,000
南 山 大 学 名 古 屋 C 施 設 備 整 備 資 金	232,670	200,000	32,670
南 山 大 学 瀬 戸 C 施 設 備 整 備 資 金	100,000	100,000	0
流 動 資 産	17,636,362	14,960,842	2,675,520
現 金 預 金	17,401,452	14,709,735	2,691,717
未 収 入 金	169,813	224,461	△ 54,648
短 期 貸 付 金	0	0	0
立 替 金	2	2	0
前 払 金	61,173	22,081	39,092
貯 蔵 品	3,922	4,563	△ 641
資 産 の 部 合 計	41,959,868	38,968,190	2,991,678

科 目	2006年度末	2005年度末	増 減
<b>負債の部</b>			
固 定 負 債	1,372,210	1,534,215	△ 162,005
長 期 借 入 金	33,330	66,660	△ 33,330
退 職 給 与 引 当 金	1,132,459	1,268,296	△ 135,837
長 期 預 り 金	206,421	199,259	7,162
流 動 負 債	2,808,200	2,772,580	35,620
返 済 期 限 が 1 年 以 内 の 長 期 借 入 金	33,330	111,100	△ 77,770
未 払 金	206,007	120,407	85,600
前 受 金	2,399,186	2,364,722	34,464
預 り 金	169,677	176,351	△ 6,674
負 債 の 部 合 計	4,180,410	4,306,795	△ 126,385
<b>基本金の部</b>			
第 1 号 基 本 金	35,085,640	33,750,969	1,334,671
第 2 号 基 本 金	332,669	834,390	△ 501,721
第 3 号 基 本 金	5,379,209	5,324,777	54,432
第 4 号 基 本 金	753,000	736,100	16,900
基 本 金 の 部 合 計	41,550,518	40,646,236	904,282
<b>消費収支差額の部</b>			
翌 年 度 繰 越 消 費 収 入 ( △ 支 出 ) 超 過 額	△ 3,771,060	△ 5,984,841	2,213,781
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	△ 3,771,060	△ 5,984,841	2,213,781
負 債 の 部、基 本 金 の 部、消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	41,959,868	38,968,190	2,991,678

(注記)

- 重要な会計方針
  - 引当金の計上基準
    - 徴収不能引当金
      - …長期貸付金の徴収不能に備えるため、徴収不能実績率に基づき、徴収不能見込額を計上している。
    - 退職給与引当金
      - …退職金の支給に備えるため、期末要支給額 4,594,903,800 円の 40% を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上している。
  - その他の重要な会計方針
    - 所有権移転外ファイナンス・リース取引の処理方法
      - …リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- 担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。
 

土地	134,800 円
----	-----------
- 翌会計年度以後の会計年度において基本金の組入れを行なうこととなる金額
 

27,780,000 円
--------------
- その他財政および経営の状況を正確に判断するために必要な事項
  - 偶発債務
    - 下記について債務保証を行なっている。
 

南山大学学生(卒業生)の奨学金銀行ローン	336,698,258 円
----------------------	---------------
  - 所有権移転外ファイナンス・リース取引
    - 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行なっている所有権移転外ファイナンス・リースは次のとおりである。
 

リース資産の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	46,917,990 円	34,451,550 円

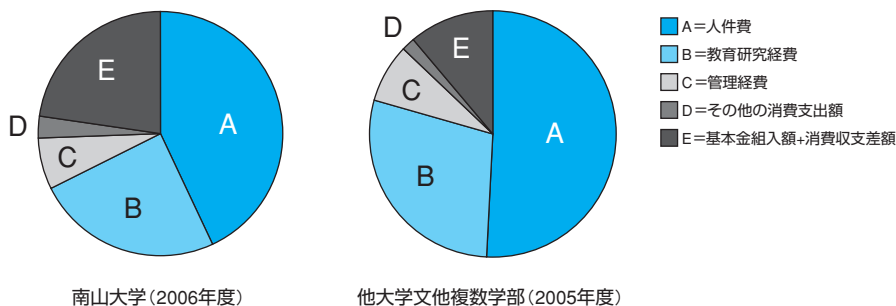
財務比率

■消費収支関連

比率	計算式	南山大学			他大学 2005年度	評価指標
		2004年度	2005年度	2006年度		
人件費比率	人件費 / 帰属収入	46.2%	46.8%	43.0%	50.8%	数値は低い方がよい
人件費依存率	人件費 / 学生納入金	58.0%	60.2%	58.5%	61.4%	数値は低い方がよい
教育研究経費比率	教育研究経費 / 帰属収入	28.4%	26.4%	24.9%	28.8%	数値は高い方がよい
管理経費比率	管理経費 / 帰属収入	7.2%	7.0%	6.7%	7.5%	数値は低い方がよい
借入金等利息比率	借入金等利息 / 帰属収入	0.2%	0.1%	0.1%	0.3%	数値は低い方がよい
学生生徒等納付金比率	学生納入金 / 帰属収入	79.6%	77.7%	73.5%	82.6%	数値は高い方がよい
補助金比率	補助金 / 帰属収入	8.5%	9.2%	9.1%	8.2%	数値は高い方がよい
基本金組入率	基本金組入額 / 帰属収入	7.9%	5.6%	6.5%	10.4%	数値は高い方がよい
減価償却費比率	減価償却額 / 消費支出	11.7%	10.3%	9.1%	10.9%	どちらともいえない

■帰属収入に対する比率

比率	南山大学 (2006年度)	他大学文他複数学部 (2005年度)
A = 人件費	43.0%	50.8%
B = 教育研究経費	24.9%	28.8%
C = 管理経費	6.7%	7.5%
D = その他の消費支出額	2.8%	1.8%
E = 基本金組入額 + 消費収支差額	22.7%	11.2%



■貸借対照表関連

比率	計算式	南山大学		他大学 2005年度	評価指標
		2005年度	2006年度		
自己資金構成比率	自己資金 / 総資金	88.9%	90.0%	86.4%	数値は高い方がよい
消費収支差額構成比率	消費収支差額 / 総資金	△ 15.3%	△ 9.0%	△ 2.6%	数値は高い方がよい
流動比率 (※)	流動資産 / 流動負債	347.5%	343.1%	253.0%	数値は高い方がよい
減価償却比率	減価償却累計額 / 減価償却資産取得価額	43.1%	42.1%	40.0%	どちらともいえない
総負債比率	総負債 / 総資産	11.1%	10.0%	13.6%	数値は低い方がよい
負債比率	総負債 / 自己資金	12.5%	11.1%	15.8%	数値は低い方がよい

(※) 南山大学の流動比率は流動資産から第3号基本金額を差し引いた額を分子とした。

(注) 他大学の数値は、日本私立学校振興・共済事業団平成18年度版「今日の私学財政」より、消費収支関連については文他複数学部の大学部門の平均を、貸借対照表関連は文他複数学部を有する大学法人の法人全体の平均をそれぞれ掲載した。  
 自己資金 = 基本金 + 消費収支差額  
 総資金 = 負債 + 基本金 + 消費収支差額  
 総負債 = 固定負債 + 流動負債

# 科学研究費補助金

2006 年度 科学研究費補助金交付

[単位：千円]

研究種目	所属・職名	氏名	交付額	研究課題
基盤研究 (A)	数理情報学部・教授	長谷川 利治	7,500	次世代 IT 社会の都市インフラストラクチャーの最適運用・最適設計システムの作成
			間接経費 2,250	
基盤研究 (A)	数理情報学部・教授	伏見 正則	5,200	都市内・都市間交通網と公共施設配置に関する数理的ならびに実証的研究
			間接経費 1,560	
基盤研究 (B)	外国語学部・助教授	牛田 千鶴	3,800	米国ラティーノ社会における階層分化の進行とエンパワーメントの史的展開
	人文学部・教授	HEISIG, James	4,600	日本哲学の全体像把握のための国際共同研究
			間接経費 1,380	
	大学院法務研究科・教授	町村 泰貴	5,200	フランス新民訴訟法典の全体的究明および日本民事訴訟法との比較研究
			間接経費 1,560	
人文学部・教授	坂井 信三	6,800	西アフリカの歴史的文明の形成と発展過程に関する歴史人類学的研究	
人文学部・講師	石原 美奈子	1,700	異教共存・融合のローカル・メカニズムに関する人類学的研究：エチオピア事例	
基盤研究 (C)	数理情報学部・教授	田中 豊	900	統計モデルにおける感度分析と変数選択
	人文学部・助教授	青山 幹哉	600	尾張・三河武士における歴史再構築過程の研究
	外国語学部・教授	加藤 泰史	1,000	18 世紀ドイツ哲学と「もう一つの公共性の構造転換」に関する理論的・歴史的研究
	外国語学部・教授	村杉 恵子	1,200	現代言語学理論における有標性：言語理論と言語獲得からのアプローチ
	人文学部・教授	斎藤 衛	600	連鎖の形成と解釈における統語素性と意味素性の役割に関する研究
	大学院法務研究科・教授	唐津 博	1,100	イギリス労働法の新展開に関する理論的・比較法的研究
	数理情報学部・教授	野呂 昌満	1,900	アスペクト指向アーキテクチャに基づく組込ソフトウェア開発環境の設計と実現
	数理情報学部・教授	尾崎 俊治	1,300	ソフトウェア・イー・メンテナンスの最適設計・評価に関する研究
	人文学部・教授	美濃部 重克	1,300	医事的教養と宮廷医の活動－中世医事書、特に医事説話をめぐって－
	経営学部・助教授	南川 和充	1,200	補完製品の取引構造と競争に関する理論的・実証的研究－ゲーム産業への応用を中心に－
総合政策学部・講師	佐々木 陽子	3,300	紛争地における平和構築のストラテジー調査のための PAC 分析の活用	
萌芽研究	数理情報学部・教授	澤木 勝茂	700	不完全情報下の金融資産評価に関する理論的および実証的研究
	外国語学部・助教授	CARDENAS, Abel	300	メキシコにおける多文化主義の綻びに関する教育社会学的研究
	人文学部・助教授	吉田 竹也	700	再帰的な観光人類学研究の探求
若手研究 (B)	経営学部・助教授	安藤 史江	1,000	未来傾斜企業のプロジェク・マネジメントの研究－その組織学習力と人づくり－
	総合政策学部・講師	佐々木 陽子	700	集団間紛争の解決を目的とした、バーチャルな他者とのネットワーク形成過程の研究
	数理情報学部・助教授	佐々木 美裕	1,400	次世代型航空ネットワーク設計を基盤とした航空会社の最適戦略モデルの研究
	人文学部・助教授	松田 京子	1,200	台湾先住民政策からみた「帝国」日本の植民地統治の推移と帝国意識の変容に関する考察
	総合政策学部・助教授	豊島 明子	500	社会福祉行政における権利保障過程の変容に関する研究
若手研究 (スタートアップ)	総合政策学部・助教授	寶多 康弘	1,400	国際的環境保全の枠組みを構築するための国内政策の協調と調和に関する理論分析
	数理情報学部・講師	井垣 宏	1,350	機能性・快適性・柔軟性を重視したサービス指向ホームネットワーク環境の構築と評価
	数理情報学部・講師	稲川 敬介	1,380	救急車システムの戦略的効率化についての研究
	人文学部・講師	鈴木 貴之	1,410	神経倫理学を中心とした哲学的自然主義における価値の問題の基礎的研究
研究成果公開促進費 (データベース)	外国語学部・教授	加藤 隆浩	2,800	アンデス民族学画像・友枝コレクション・データベース
特別研究員奨励費	数理情報研究科・特別研究員	八木 恭子	1,000	償還条項付き転換社債の評価と最適政策および計算アルゴリズムの研究
	宗教文化研究所・受入研究者：教授	SWANSON, Paul	500	日本の新宗教運動と武道：日本とイタリアにおけるスピリチュアリティー
	宗教文化研究所・研究分担者：外国人特別研究員	MOLLE, Andrea		
合計			76,740	



# 研究助成金・奨励金

## 2006年度 学外 研究助成金・奨励金

[単位：円]

助成法人・種類	所属	職名	氏名	外国人招へい研究者
(独) 日本学術振興会 (外国人招へい研究者 (長期))	外国語学部	教授	加藤 隆浩	Pedro Arrieta 氏 (社会人類学高等調査研究センター (メキシコ) 教授)
合計				1件

助成財団・種類	金額	所属	職名	氏名	テーマ等
(財) 平和中島財団	1,910,000	人文学部	助教授	黒沢 浩	カンボジア東南部における広域歴史・地域調査 - カンボジアとの国際共同研究
(財) 高梨学術奨励基金	600,000	人文学部	助教授	西江 清高	渭河流域における初期王朝時代の都市と集落 - GIS を利用した遺跡分布と地理環境に関するデータベースの作成
(財) 堀情報科学振興財団	1,000,000	数理情報学部	講師	富田 誠	統合失調症におけるハプロタイプブロックとタグ SNP を適用した解析
(財) 簡易保険文化財団	300,000	経済学部	助教授	宮澤 和俊	社会保障の制度改革 - 一制度間相互依存を考慮して -
(財) 石井記念証券研究振興財団	600,000	ビジネス研究科	助教授	山下 忠康	銀行融資における知的資産評価の実践
(財) 日東学術振興財団	400,000	経営学部	助教授	後藤 剛史	家族法の経済分析
(財) 市原国際奨励財団	500,000	人文学部	助教授	奥山 倫明	政教関係の日仏比較研究
(財) 大幸財団 (学会等開催助成)	180,000	外国語学部	教授	川島 正樹	日本フィヒテ協会 2006 年度第 22 回大会 アメリカ学会第 40 回年次大会兼 40 周年記念国際シンポジウム
合計	5,570,000				9件

奨学寄附会社名等	金額	所属	職名	寄附金使用者	テーマ
コネテック大学言語学科	518,379	外国語学部	教授	村杉 恵子	日本語の統語的形態論に関する文法獲得研究 II
マイクロソフト (株)	600,000	数理情報学部	教授	青山 幹雄	Imagine Cup ソフトウェア開発
ユピテル工業株式会社	500,000	数理情報学部	教授	稲垣 直樹	特定小電力無線のためのアンテナ開発
三菱電機 (株)	300,000	数理情報学部	講師	藤井 勝之	コーディングパターン再利用によるコーディング支援
合計	1,918,379				4件

受託研究会社名等	金額	所属	職名	受託研究者	テーマ
(株) アmend	600,000	経済学部	教授	吉本 佳生	金融商品取引法施行時代の「あるべき金融コミュニケーション」についての調査・分析
(株) カーマ	1,200,000	数理情報学部	教授	鈴木 敦夫	店舗最適構成手法の開発と実現に関する研究
富士電機リテイルシステムズ (株)	1,000,000	数理情報学部	教授	野呂 昌満	自動販売機ソフトウェアのプロダクトラインおよび MDA の概念に基づく支援
富士電機リテイルシステムズ (株)	500,000	数理情報学部	助教授	張 漢明	アスペクト指向ソフトウェアアーキテクチャへの形式手法の適用 ~自動販売機ソフトウェアを例として~
東京エレクトロン ソフトウェア・テクノロジーズ	1,575,000	数理情報学部	教授 助教授	野呂 昌満 張 漢明	半導体作成装置制御ソフトウェアへのアスペクト指向技術の応用
(独) 森林総合研究所	2,271,000	総合政策学部	教授	藤本 潔	熱帯低湿地林の維持機構と炭素固定機能の解明
小島プレス工業株式会社	600,000	数理情報学部	教授	稲垣 直樹	車載用統合化アンテナの開発 (DSRC 帯 2 メディアアンテナの統合化)
(社) 情報サービス産業協会	3,150,000	数理情報学部	教授	青山 幹雄	要求定義の方法論に関する研究
(独) 科学技術振興機構	1,375,000	人文学部	教授	横山 輝雄	科学論的観点から見た神経科学研究項目
(財) 阪神高速道路管理技術センター	2,698,500	数理情報学部	教授	河野 浩之	阪神高速道路データウェアハウスに関する検討
合計	14,969,500				10件

# 土地・建物

## 土地および建物

2007年5月1日現在

	土地	建物	
校舎等敷地	104,646 m <sup>2</sup>	校舎等建物	38,473 m <sup>2</sup>
運動場敷地	14,888 m <sup>2</sup>	体育用建物	2,012 m <sup>2</sup>
その他土地	542 m <sup>2</sup>	寄宿舎建物	—
		その他建物	—
瀬戸キャンパス計	120,076 m <sup>2</sup>	瀬戸キャンパス計	40,485 m <sup>2</sup>
校舎等敷地	104,060 m <sup>2</sup>	校舎等建物	81,859 m <sup>2</sup>
運動場敷地	44,888 m <sup>2</sup>	体育用建物	12,725 m <sup>2</sup>
その他土地	3,354 m <sup>2</sup>	寄宿舎建物	4,206 m <sup>2</sup>
		その他建物	587 m <sup>2</sup>
名古屋キャンパス	152,302 m <sup>2</sup>	名古屋キャンパス	99,377 m <sup>2</sup>
合計	272,378 m <sup>2</sup>	合計	139,862 m <sup>2</sup>

※瀬戸キャンパス 建物【校舎等】には、サテライトキャンパス (1,528 m<sup>2</sup>) を含む。

## 関連施設

2007年5月1日現在

名称	所在地	収容人員	
交流会館	名古屋交流会館	名古屋市昭和区山里町 50	56名
	山里交流会館	名古屋市昭和区山里町 90	20名
	瀬戸交流会館	瀬戸市緑町 2-27	80名
	瀬戸第二交流会館	瀬戸市山口町 280-1	64名
学生用マンション	四ツ谷の里	名古屋市千種区朝岡町 1-22	52名
	メゾンやわらぎ南山	瀬戸市山口町 220	36名
	フォワイエ南山	名古屋市昭和区五軒家町 7-3	56名
南山学園 研修センター	名古屋市昭和区広路町隼人 30	70名	
南山学園 堀池山荘	長野県北安曇郡小谷村大学千国字親ノ原乙 12840-93	40名	
南山学園 伊勢海浜センター	伊勢市大湊町 497-1	50名	
多治見修道院研修センター [ログハウス] (神言会経営)	多治見市緑ヶ丘 38	80名	
ロゴスセンター (神言会施設)	名古屋市昭和区八雲町 104	35名	

# 後援会／友の会

## 南山大学後援会

昭和31年に発足した「南山大学後援会」は、南山大学在学生の保護者によって組織され、大学の経営を助成するとともに教育目的の達成のために貢献し、併せて会員相互の親睦をはかることを目的としています。

主な事業は、大学の経常的教育研究活動の助成、学生の課外活動援助、就職活動援助、留学生に対する支援活動援助および大学新聞等の広報活動まで大学の全般に亘っています。

特に、総合政策学部へ入学するアジア諸国の学生への支援および教育研究図書援助に重きをおいています。また、学生の課外活動に関する2種類の基金（南山大学後援会課外活動援助基金、南山大学後援会事故対策基金）を持ち、課外活動施設の建設や不測の事態、事故に備えています。

## 南山大学友の会

昭和26年4月12日に設立された「南山大学友の会」は、南山大学の教育・研究に副い、その発展に貢献するとともに大学と会員の紐帯の強化と地域社会との協力関係の促進に寄与することを目的としています。

主な事業は、外国人留学生および海外へ留学する学生への奨学金給付です。中でも外国人留学生への奨学金事業は、南山大学の特色である国際性とその実現に向けた社会的使命であり、また諸外国からの期待も大きく、ますます重要となっています。

### 法人会員：129法人

2007年4月1日現在

●アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 ●アイシン精機株式会社 ●株式会社愛知銀行 ●愛知トヨタ自動車株式会社 ●株式会社青島設計  
●株式会社青島設備設計 ●株式会社青山製作所 ●明鋼材株式会社 ●株式会社アドプランナー ●アルファ工業株式会社 ●安藤証券株  
式会社 ●三菱UFJリサーチ&コンサルティング ●株式会社INAX 中部統括支社 ●株式会社イノアックコーポレーション ●ウチダ株  
式会社 ●株式会社エー・アンド・エー ●株式会社エヌ・イー・エス ●エフ・ヴィセントラル株式会社 ●岡谷鋼機株式会社 ●オリエンタル  
ビル株式会社 ●株式会社加名市 ●兼房株式会社 ●川北電気工業株式会社 ●鬼頭工業株式会社 ●株式会社紀伊國屋書店中部営業部  
●株式会社協立社 ●共和工業株式会社 ●錦成ビル株式会社 ●建材化工株式会社 ●興和株式会社 ●株式会社国際フードサービス  
●小島プレス工業株式会社 ●三機工業株式会社名古屋支店 ●株式会社サンゲツ ●株式会社三樹園 ●サンポッカサービス株式会社  
●三友建材株式会社 ●三和シャッター株式会社中部ビル建材支店 ●敷島製パン株式会社 ●株式会社システムリサーチ ●清水建設株  
式会社名古屋支店 ●昭和印刷株式会社 ●昭和建物管理株式会社 ●新東工業株式会社 ●株式会社ジーエスエレテック ●CKD 株式会社  
●須賀工業株式会社名古屋支店 ●株式会社ジェイテクト ●株式会社ステップアップ ●西濃運輸株式会社 ●セコインターナショナル  
●大成建設株式会社名古屋支店 ●大同メタル工業株式会社 ●株式会社高木製作所 ●竹田印刷株式会社 ●立川ブラインド工業株式会  
社名古屋支店 ●田村プラスチック製品株式会社 ●中央建材工業株式会社 ●株式会社中央鉄骨 ●株式会社中京銀行 ●株式会社中日新聞  
社 ●中部若佐塗装株式会社 ●中部電力株式会社 ●株式会社榎屋 ●株式会社デンソー ●株式会社電通中部支社 ●東海テレビ放送株  
式会社 ●東海旅客鉄道株式会社 ●株式会社トウチュウ ●東邦ガス株式会社 ●東朋テクノロジー株式会社 ●徳倉建設株式会社 ●豊島  
株式会社 ●トヨタ自動車株式会社 ●株式会社豊田自動織機 ●トヨタ車体株式会社 ●トヨタ紡織株式会社 ●豊臣機工株式会社 ●株  
式会社ナイス ●株式会社名古屋エム・シーカード ●名古屋エージェンシー株式会社 ●株式会社名古屋観光ホテル ●株式会社名古屋カー  
ド ●株式会社ナゴヤキャッスル ●株式会社名古屋銀行 ●株式会社名古屋建陶社 ●名古屋黒板株式会社 ●株式会社名古屋住宅流通  
サービス ●名古屋テレビ放送株式会社 ●名古屋トヨペット株式会社 ●名古屋ビルサービス株式会社 ●株式会社名古屋リース ●株式  
会社浪花組 ●株式会社日興建材商行 ●日東工業株式会社 ●日本ガイシ株式会社 ●日本興亜損害保険株式会社 ●日本電話施設株式会  
社 ●日本道路株式会社中部支店 ●日本特殊陶業株式会社 ●野村證券株式会社名古屋支店 ●株式会社ノリタケカンパニーリミテド ●株  
式会社浜乙女 ●株式会社林屋 ●不二サッシ株式会社名古屋支店 ●フジパン株式会社 ●ブラザー工業株式会社 ●豊和工業株式会社  
●ホクト商事株式会社 ●ホンザキ電機株式会社 ●丸善株式会社 ●丸高株式会社 ●株式会社九天産業 ●株式会社ミツカングループ本  
社採用チーム ●ミックインターナショナル株式会社 ●株式会社ミディック ●株式会社ミルックス名古屋支店 ●株式会社村瀬業務店  
●株式会社メリアン ●名港海運株式会社 ●有限会社名工社 ●盛田エンタプライズ株式会社 ●モリリン株式会社 ●ヤマザキマザック  
株式会社 ●株式会社山本工務店 ●株式会社三菱東京UFJ銀行 ●UFJ ニコス株式会社 ●株式会社ユーフィット ●リンナイ株式会社

### 一般会員：175名

2007年4月1日現在

# 南山大学アクセスマップ

